

第53回 四国中学校総合体育大会 大会要項



平成27年8月1日（土）2日（日）6日（木）

主催 四国中学校体育連盟・徳島県教育委員会・香川県教育委員会
愛媛県教育委員会・高知県教育委員会・徳島市教育委員会
鳴門市教育委員会・高松市教育委員会・丸亀市教育委員会
松山市教育委員会・東温市教育委員会・新居浜市教育委員会
高知市教育委員会・南国市教育委員会

後援 徳島県中学校長会・香川県中学校長会・愛媛県小中学校長会
高知県中学校長会・当該競技四国統括団体・当該競技開催県新聞社
当該競技開催県放送局

主管 徳島県中学校体育連盟・香川県中学校体育連盟
愛媛県中学校体育連盟・高知県中学校体育連盟
徳島県開催競技団体・香川県開催競技団体
愛媛県開催競技団体・高知県開催競技団体

第53回 四国中学校総合体育大会

一 般 要 項

- 1 期 日 平成27年8月1日(土) 2日(日) 6日(木)
- 2 会 場 四国4県各競技会場(下記一覧表参照)
- 3 実施競技 17競技
- 4 参加者 各県大会を経て選抜された代表チーム及び個人
- 5 競技別会場

競技名	性別	期日	会 場	開場時刻	開会式	競技開始	専門部長会	監督会議
陸上競技	男女	1・2	徳 鳴門・大塚スポーツパーク ポカリスエットスタジアム	1日 8:00 2日 7:00	12:00	1日 13:00 2日 9:30	1日 10:00	
水泳競技	男女	2	徳 JAバンクちよきんぎょプール	2日 7:30	9:00	2日 9:20	1日 12:00	
バスケットボール	男女	1・2	高 南国市立スポーツセンター体育館	1日 8:30 2日 8:30	11:30	1日 12:00 2日 9:30	1日 10:50 2日 12:00	1日 11:00
サッカー		1・2	愛 グリーンフィールド新居浜	1日 9:00 2日 9:00	12:00	1日 13:30 2日 10:30	1日 11:30	1日 11:30
ハンドボール	男女	1・2	愛 愛媛県総合運動公園体育館	1日 8:00 2日 8:00	11:30	1日 12:00 2日 9:00	1日 10:00	1日 11:00
軟式野球		1・2	香 レグザムスタジアム 香川県営第2野球場	1日 8:00 2日 8:00	11:30	1日 13:00 2日 9:00	1日 11:00	1日 11:00
体操競技	男女	1・2	徳 鳴門大塚スポーツパーク アミノバリューホール	1日 8:00 2日 8:00	10:00	1日 11:50 2日 10:10	1日 8:45	
新体操	男	1	徳 鳴門大塚スポーツパーク アミノバリューホール	1日 8:00	10:00	1日 15:10		
	女	6	徳 鳴門大塚スポーツパーク アミノバリューホール	6日 8:30	10:05	6日 10:25	5日 16:00 6日 14:35	5日 16:30
バレーボール	男女	1・2	香 丸亀市民体育館	1日 8:30 2日 8:30	12:30	1日 13:00 2日 9:30	1日 10:30	1日 11:30
ソフトテニス	男女	1・2	香 香川県総合運動公園テニス場	1日 8:00 2日 8:00	11:00	1日 11:30 2日 9:30	1日 9:30	1日 10:30
卓球	男女	1・2	高 高知県立県民体育館	1日 8:00 2日 8:00	11:30	1日 12:00 2日 9:00	1日 9:30	1日 10:30
バドミントン	男女	1・2	徳 徳島市立体育館	1日 8:00 2日 8:00	12:00	1日 12:30 2日 9:20	1日 10:00	1日 11:00
ソフトボール	男女	1・2	愛 東温市かすみの森公園 松山中央公園運動広場	1日 8:00 2日 8:00	11:00	1日 12:00 2日 9:00	2日 14:00	1日 10:30
柔道	男女	1・2	香 高松市総合体育館	1日 8:00 2日 7:30	11:30	1日 12:00 2日 9:30	1日 9:30 2日 8:00	1日 11:00 2日 9:00
剣道	男女	2	愛 愛媛県武道館	2日 8:00	9:30	2日 10:00	1日 14:00	2日 9:00
相撲	男	1	高 高知県立春野総合運動公園 相撲場	1日 7:30	9:30	1日 9:45	1日 8:15	1日 8:45
テニス	男女	2	愛 松山中央公園テニスコート	2日 8:30	10:00	2日 10:30	2日 9:00	2日 9:30

6 練習会場，時間（原則として競技会場をあてる。また，開催県に近い県から順番に時間帯を割振る。）

県名	練習日	競技名	県名	練習時間帯
徳島県	1日	陸上競技	徳島・香川・高知・愛媛	本競技場 8:30～11:30
				補助競技場 8:30～17:00
	2日			補助競技場 7:30～17:00
	1日	水泳競技	徳島・香川・高知・愛媛	12:00～16:00
	1日	体操競技	徳島・香川・高知・愛媛	男子のみ 10:20～11:40
				男子・女子 15:40～16:40
	2日			男子・女子 9:00～10:00 12:20～13:20
	1日	新体操（男子）	徳島・香川・高知・愛媛	13:50～15:00
	5日	新体操（女子）	徳島	12:00～13:00
			香川	13:00～14:00
高知			14:00～15:00	
愛媛			15:00～16:00	
1日	バドミントン	徳島・香川・高知・愛媛	9:00～11:00	
香川県	1日	軟式野球	香川	8:30～9:00
			徳島	9:00～9:30
			高知	9:30～10:00
			愛媛	10:00～10:30
	1日	バレーボール	香川	9:00～9:30
			徳島	9:30～10:00
			高知	10:00～10:30
			愛媛	10:30～11:00
	1日	ソフトテニス	香川・徳島・高知・愛媛	9:00～10:30
	1日	柔道	香川・徳島・高知・愛媛	8:40～11:00
2日	7:40～9:00			
愛媛県	1日	サッカー	愛媛・香川・徳島・高知	9:00～10:30
	1日	ハンドボール	愛媛	9:00～9:30
			香川	9:30～10:00
			高知	10:00～10:30
			徳島	10:30～11:00
	1日	ソフトボール	愛媛・香川	8:00～9:00
			高知・徳島	9:00～10:00
	1日	剣道	愛媛・香川・徳島・高知	14:00～17:00
1日	テニス	愛媛・香川・徳島・高知	13:00～17:00	
2日			9:00～9:50	
高知県	1日	バスケットボール	高知	9:00～9:30
			香川	9:30～10:00
			徳島	10:00～10:30
			愛媛	10:30～11:00
	1日	卓球	高知・香川・徳島・愛媛	8:00～11:00
	2日			8:00～8:50
7/31日	相撲	高知・香川・徳島・愛媛	11:00～16:30	

- 7 専門部長会・監督会 原則として、開会式1時間前より各会場で行う。
- 8 表彰 団体1～3位（学校に賞状） ※1位には優勝杯（持ち回り）、個人に賞状
個人1～3位（個人に賞状）
- 9 参加賞 各県の選手及びマネージャーに配布する。
- 10 申込締切 平成27年7月28日（火） 11時00分
申込は各県事務局を経て、大会事務局で集約する。その後、各県開催競技に分け、各県事務局が持ち帰る。
- 11 大会事務局 徳島県徳島市中前川町3丁目16 徳島市徳島中学校内
徳島県中学校体育連盟
TEL 088-653-8338
FAX 088-623-3176
- 12 競技別事務局 香川県高松市上福岡町714-1 高松市立玉藻中学校内
香川県中学校体育連盟
TEL 087-837-9127
FAX 087-837-9126
- 愛媛県松山市市坪南1丁目1-20 松山市立椿中学校内
愛媛県中学校体育連盟
TEL 089-958-8499
FAX 089-958-9258
- 高知県高知市八反町1-8-14 高知市立城北中学校内
高知県中学校体育連盟
TEL 088-824-5968
FAX 088-824-5968

競 技 要 項

【 総 則 】

- 1 競技は本年度各競技協会・連盟及び（公財）日本中学校体育連盟の各競技部が定める規則に準じて行う。
- 2 合同チームの編成については、四国中学校体育連盟「複数校合同チーム編成規程」に則る。
- 3 引率者及び監督
 - (1) 引率者及び監督は、出場校の校長・教員とする。
 - (2) 大会では、外部指導者（コーチ）をおくことができる。外部指導者（コーチ）は、出場校の校長が認めた者とし、必ず外部指導者（コーチ）証【各県で使用の物】を身に付けること。また、次の二点を遵守すること。
 - ① 当該校以外の中学校教職員は、外部指導者（コーチ）になれない。
 - ② 同一人が複数校の外部指導者（コーチ）になれない。

【水泳競技・体操競技・新体操・卓球を除く。】
- 4 個人情報の取扱い（利用目的）

大会の主催者は、個人情報保護に関する法令を遵守し、四国中学校体育連盟個人情報保護方針・規程に基づき、取得する個人情報について適正に取り扱う。また、取得した個人情報は、競技大会の資格審査・競技大会運営上必要なプログラム編成及び作成・ホームページ・掲示板・報道発表・記録発表（記録集）等、その他競技運営及び競技に必要な連絡等に利用する。大会に参加する各選手は、これに同意する。
- 5 組合せ
 - (1) 団体戦は、県代表1チームについてはフリー抽選。県代表2チーム以上の競技は、左右のゾーンに分ける。また、各県の1位が1回戦で対戦しないように配慮する。
 - (2) 個人戦は、各県の個人順位または、強い順によりゾーン配分して組み合わせる。
 - (3) 申込書には必ず順位を明記すること。
- 6 参加料
参加選手一人につき1,000円とする。（マネージャーを除く。）
- 7 備 考
 - (1) 各競技本部は、環境状況（気温、湿度、風速、輻射熱等）を十分に把握し、適宜水分補給、休憩等をとるようにすること。

【環境省熱中症予防情報サイト】

URL <http://www.nies.go.jp/HeatStroke/index.html>
 - (2) 各競技本部は、自然災害等による事故防止のため、常に最新の気象情報の収集に努め、活動途中の降雨及び落雷等の気象の変化に対しては、選手等の健康及び安全面を最優先し、各県大会本部と協議の上、適切な措置を講じること。

徳島地方气象台：TEL 088-622-2265
URL <http://www.osaka-jma.go.jp/tokushima/>
高松地方气象台：TEL 087-867-6112
URL <http://www.osaka-jma.go.jp/takamatsu/takama01.html>
松山地方气象台：TEL 089-941-0012
URL <http://www.osaka-jma.go.jp/matuyama>
高知地方气象台：TEL 088-822-8883
URL <http://www.osaka-jma.go.jp/kochi/toppage.htm>
 - (3) 屋外競技については、落雷の予兆があった場合は、速やかに活動を中止し、危険性がなくなると判断されるまで安全な場所に避難するなど、選手の安全確保を最優先事項として常に留意すること。

【陸上競技】

1 参加規程

(1) 種目

男子 (18 種目) 学年種目：1 年 100m・2 年 100m・3 年 100m

1 年 1500m・2 年 1500m・3 年 1500m

共通種目：200m・400m・800m・3000m・110mH・4×100m リレー

走高跳・棒高跳・走幅跳・三段跳・砲丸投・四種競技

女子 (14 種目) 学年種目：1 年 100m・2 年 100m・3 年 100m

1 年 1500m・2 年 1500m・3 年 1500m

共通種目：200m・800m・100mH・4×100m リレー

走高跳・走幅跳・砲丸投・四種競技

(2) 資格

各県 1 種目 4 名とする。ただし、リレーは 2 チームとする。

(3) 制限

1 人の出場は 2 種目以内とする。ただし、リレーは除く。

2 競技規則

(1) 競走競技の予選通過は、各組 3 着 + 2 とする。

ただし、1500m・3000m は、予選を行わず 16 名で決勝を行う。

(2) 得点は、1 位 8 点・…・8 位 1 点とし、学校対抗とする。

(3) ナンバーカードは、各県に配番された番号を明記し、各県で準備する。

香川 (オリーブ) 1～150 徳島 (イエロー) 201～350

高知 (ピンク) 401～550 愛媛 (オレンジ) 601～750



↑ ※ ナンバーカードの割り振りは、男子から行い、男女込みの通し番号とする。

20 ※ ナンバーカード下部に県名を入れる。

cm ※ ナンバーカードは、胸と背に確実に付けること。ただし、跳躍種目については、胸か背のいずれかでよい。

← 25cm →

(4) 申込は、申込一覧表 (様式 A) と学校別申込表 (様式 B) 及び県中学 (最高) 記録一覧表 (様式 C) をそろえて申し込むこと。

(5) スパイクのピンは、全天候用の 9 mm 以下とする。(走高跳は 12 mm 以下)

3 競技方法

学校対抗及び種目別選手権

4 競技日程

〈第1日目〉

トラック競技				
No	性別	種目		時刻
1	女	800m	予選	13:00
2	男	800m	予選	13:20
3	女	四種100mH	2組	13:50
4	男	四種110mH	2組	14:10
5	女	200m	予選	14:30
6	男	200m	予選	14:45
7	女	1年1500m	決勝	15:00
8	男	1年1500m	決勝	15:15
9	男	3000m	決勝	15:30
10	女	200m	決勝	15:50
11	男	200m	決勝	16:00
12	女	800m	決勝	16:10
13	男	800m	決勝	16:20

フィールド競技				
No	性別	種目		時刻
1	男	走高跳	決勝	13:00
2	女	走幅跳	決勝	13:00
3	女	砲丸投	決勝	13:00
4	女	四種走高跳		15:00
5	男	走幅跳	決勝	15:00
6	男	四種砲丸投		15:30

開会式	12:00
-----	-------

〈第2日目〉

トラック競技				
No	性別	種目		時刻
1	女	100mH	予選	9:30
2	男	110mH	予選	9:45
3	男	400m	予選	10:10
4	女	1年100m	予選	10:25
5	女	2年100m	予選	10:35
6	女	3年100m	予選	10:45
7	男	1年100m	予選	10:55
8	男	2年100m	予選	11:05
9	男	3年100m	予選	11:15
10	女	100mH	決勝	11:30
11	男	110mH	決勝	11:40
12	女	1年100m	決勝	11:50
13	女	2年100m	決勝	12:00
14	女	3年100m	決勝	12:10
15	男	1年100m	決勝	12:20
16	男	2年100m	決勝	12:30
17	男	3年100m	決勝	12:40
18	女	四種200m	2組	12:50
19	男	四種400m	2組	13:00
20	男	400m	決勝	13:10
21	女	2年1500m	決勝	13:30
22	女	3年1500m	決勝	13:40
23	男	2年1500m	決勝	13:50
24	男	3年1500m	決勝	14:00
25	女	4×100mR	決勝	14:20
26	男	4×100mR	決勝	14:30

フィールド競技				
No	性別	種目		時刻
1	男	四種走高跳		9:30
2	女	四種砲丸投		9:30
3	男	棒高跳	決勝	10:00
4	女	走高跳	決勝	11:30
5	男	三段跳	決勝	12:00
6	男	砲丸投	決勝	12:00

閉会式	競技終了後
-----	-------

【水 泳 競 技】

1 参加規程

(1) 種 目

種 目	男 子	女 子
自 由 形	50 100 200 400 1500	50 100 200 400 800
平 泳 ぎ	100 200	100 200
バ タ フ ラ イ	100 200	100 200
背 泳 ぎ	100 200	100 200
個人メドレー	200 400	200 400
メドレーリレー	400	400
フリーリレー	400	400

(2) 資 格

各県1種目2名，リレーは2チームとする。

(3) 制 限

1種目2名，1人2種目以内。ただし，リレーは除く。

2 競技規則

(1) レースは，すべて決勝とする。

(2) スタートは，1回とする。

(3) 優勝校の決定法

各種目ごとに1位8点・2位7点・3位6点……………8位1点（ただし，リレー種目は，1位16点・2位14点・3位12点……………8位2点）とし，得点の順にしたがって決定する。
総合得点と同じ場合は，次の順にしたがって決定する。

- ① リレーによる得点の多い学校
- ② 入賞者の多い学校（ただし，リレーは4人とする。）
- ③ 1位の数の多い学校
- ④ 2位の数の多い学校（以下，3位・4位……の順で）

3 競技方法

学校対抗及び種目別選手権

4 競技日程

			開	会	式		9:00					
1	女子	400m	個	人	メ	ド	レ	ー	決	勝	9:20	
2	男子	400m	個	人	メ	ド	レ	ー	決	勝		
3	女子	800m	自		由			形	決	勝	9:40	
4	男子	1500m	自		由			形	決	勝	9:55	
5	女子	50m	自		由			形	決	勝	10:20	
6	男子	50m	自		由			形	決	勝		
7	女子	200m	自		由			形	決	勝	10:30	
8	男子	200m	自		由			形	決	勝		
9	女子	200m	バ	タ	フ	ラ	イ		決	勝	10:45	
10	男子	200m	バ	タ	フ	ラ	イ		決	勝		
11	女子	200m	背		泳			ぎ	決	勝	11:00	
12	男子	200m	背		泳			ぎ	決	勝		
13	女子	200m	平		泳			ぎ	決	勝	11:15	
14	男子	200m	平		泳			ぎ	決	勝		
15	女子	400m	フ	リ	ー	リ	レ	ー	決	勝	11:40	
16	男子	400m	フ	リ	ー	リ	レ	ー	決	勝		
			昼					食				
17	女子	100m	バ	タ	フ	ラ	イ		決	勝	12:50	
18	男子	100m	バ	タ	フ	ラ	イ		決	勝		
19	女子	100m	自		由			形	決	勝	13:00	
20	男子	100m	自		由			形	決	勝		
21	女子	100m	背		泳			ぎ	決	勝	13:10	
22	男子	100m	背		泳			ぎ	決	勝		
23	女子	100m	平		泳			ぎ	決	勝	13:20	
24	男子	100m	平		泳			ぎ	決	勝		
25	女子	200m	個	人	メ	ド	レ	ー	決	勝	13:30	
26	男子	200m	個	人	メ	ド	レ	ー	決	勝		
27	女子	400m	自		由			形	決	勝	13:45	
28	男子	400m	自		由			形	決	勝		
29	女子	400m	メ	ド	レ	ー	リ	レ	ー	決	勝	14:20
30	男子	400m	メ	ド	レ	ー	リ	レ	ー	決	勝	
			閉	会	式						15:00	

【バスケットボール】

1 参加規程

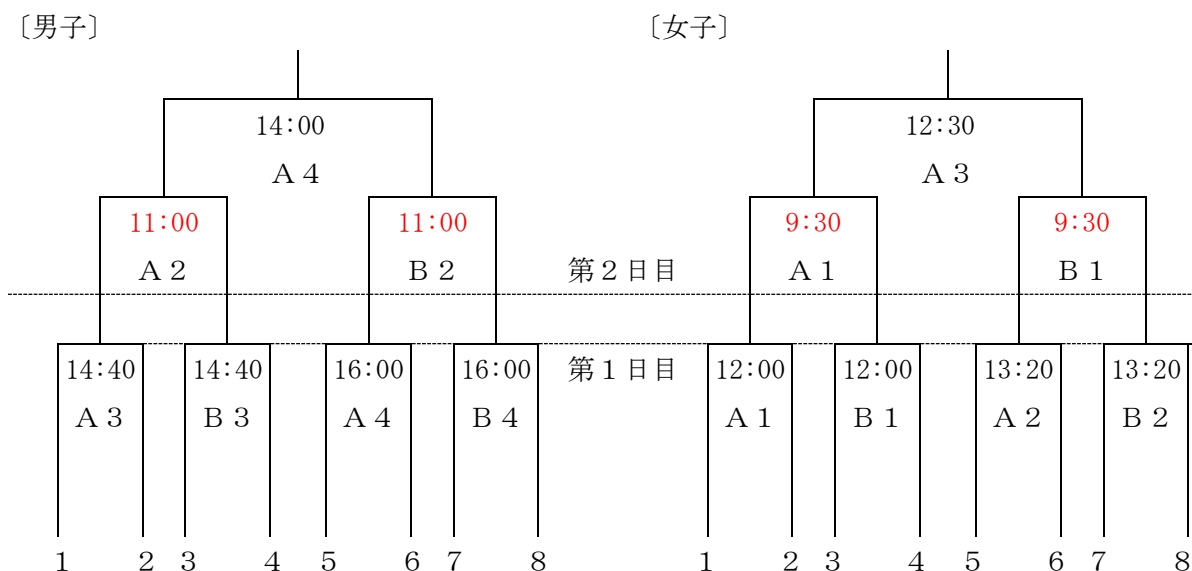
各県男女各2チームとする。

2 競技規則

- (1) 現行の（公財）日本バスケットボール協会競技規則による。
- (2) ベンチは組み合わせ番号の小さいチームが、コートからオフィシャル席に向かって右側とする。
- (3) メンバー票の提出は必要ない。ただし、メンバーの変更がある場合は、「変更届」を監督会議で提出する。
- (4) ユニフォームの色は、組み合わせ番号の小さいチームが淡色を着用する。
- (5) 前のゲームのハーフタイムでは、次のゲームのチームが3分前まで練習をしてもよい。
- (6) ベンチに入れる者は、登録された選手15名以内と、引率責任者1名、コーチ1名、アシスタントコーチ1名、マネージャー1名の合計19名以内とする。
 - ① コーチは、出場校の校長・教員（非常勤講師は除く）とする。
 - ② アシスタントコーチ(Aコーチ)は、校長の認めた者とする。
 - ③ マネージャーは、出場校の教員または生徒とする。

3 競技方法

- (1) トーナメント方式とする。3位決定戦は行わない。
- (2) 組合せ



4 その他

- (1) フロアでの給水は、スクイーズボトルとする。
- (2) 開会式は全チームがユニフォームで、閉会式はベスト4のチームが統一された服装で参加する。

【サ ッ カ ー】

1 参加規程

各県2チームとする。

(公財)日本サッカー協会の女子加盟チーム選手は、在籍中学校の生徒であれば、移籍を行うことなく、本大会に参加することができる。

2 競技規則

(1) (公財)日本サッカー協会の「サッカー競技規則(該当年度)」による。

(2) 選手登録は18名とし、試合開始前に最大限7名までの交替要員の氏名を主審に通告しておき、交替要員全員が、主審の許可を得て交替することができる。(一度退いた競技者は再び出場することはできない。)

※ 登録(申込書)に変更がある場合は、監督会議にて「変更届」を16部提出すること。

(3) テクニカルエリアを採用する。

(4) 使用球は公認球(5号)とする。

(5) 本大会において、退場を命じられた選手は、次の1試合に出場することができない。違反行為の内容によっては、大会の規律委員会で、それ以後の処置について決定する。各県大会における退場による出場停止処分の未消化分に関しては、四国大会でも適用される。

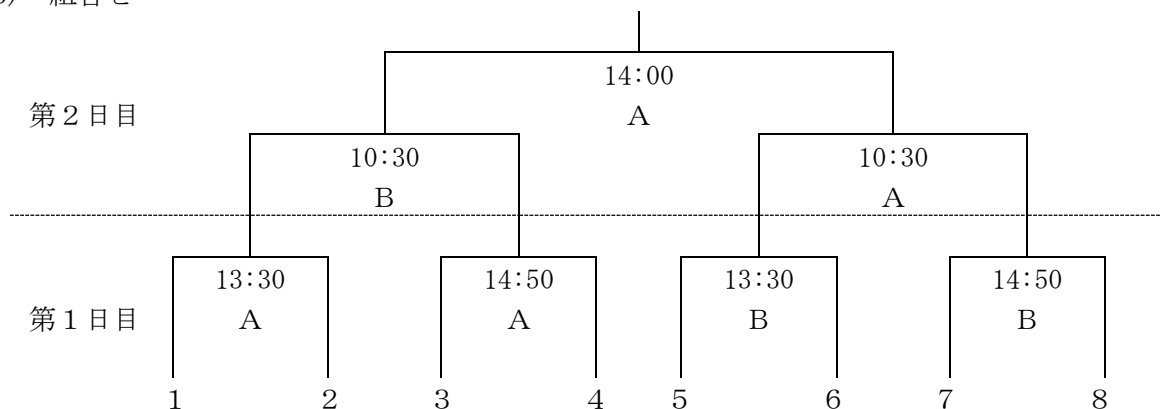
(6) 本大会期間中、警告を2回受けた選手は、次の1試合に出場できない。各県大会における警告の累積による出場停止の未消化分に関しては、四国大会では適用されない。

3 競技方法

(1) トーナメント方式とする。

(2) 試合時間は60分(30分ハーフ)とする。勝敗が決しないときは、10分間(5分ハーフ)の延長を行う。なお決しないときは、PK方式により勝敗を決定する。

(3) 組合せ



4 その他

(1) ユニホームは参加申込書に記入したもの。参加申込書類送付以降の変更は認められない。なお、背番号の変更も認めない。また、必ず正・副と異なる色のユニホーム(シャツ・ショーツ・ストッキング)を用意すること。

(2) 審判員と同一色または類似色(黒または紺)のユニホームをシャツに用いることはできない。なお、ショーツとストッキングは黒または紺のみでも可とする。ゴールキーパーについても同様である。

(3) シャツの前面・背面に参加申込書に登録された選手番号を付けること。ショーツの番号については、付けることが望ましい。なお、番号は1番から99番までとする。

(4) 雷発生の危険性が高い場合は、直ちに試合を中断し、その後の処置については、本大会の専門部で決定する。

【ハンドボール】

1 参加規程

- (1) 各県男女2チームとする。
- (2) 選手15名以内、役員4名以内。
(役員とは、監督1名、役員3名とする。当該校教職員であり、外部コーチは校長が認めた者でなければならない。)

2 競技規則

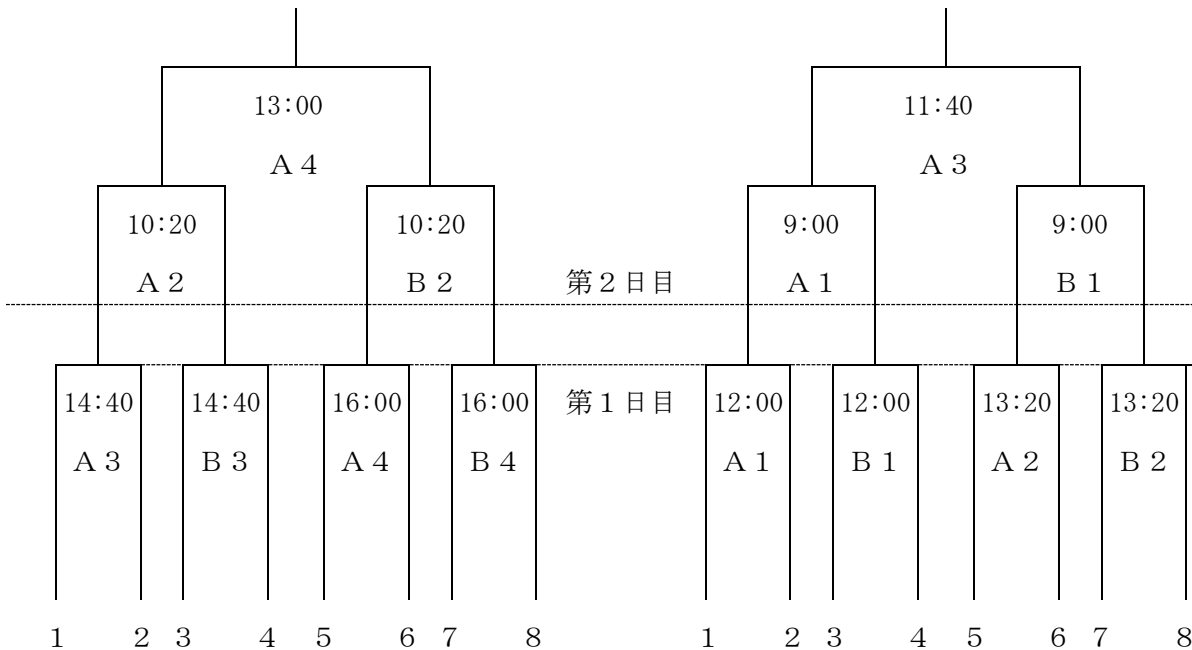
- (1) (公財)日本ハンドボール協会競技規則(当該年度規則)による。
- (2) 競技時間 25分-10分-25分
 - ① 延長戦は、準決勝戦までは第一延長のみとし、その後は7mTCとする。
 - ② 決勝戦は、正規で行い、決しない場合は7mTCとする。
- (3) ユニフォームはCP、GKともに濃淡のはっきりした区別のできる2着を用意すること。
- (4) 申込後の選手変更は、「変更届」に記入の上、監督会議前に本部に提出すること。
- (5) ボールは、(公財)日本ハンドボール協会検定2号球(手縫い黄色)を使用する。
- (6) 館内で松やに、松やにスプレーの使用を禁止する。両面テープの使用は認める。
- (7) 体育館では、ポイントシューズの使用は認めない。

3 競技方法

- (1) トーナメント方式とする。
- (2) 組合せ

[男子]

[女子]



【軟式野球】

1 参加規程

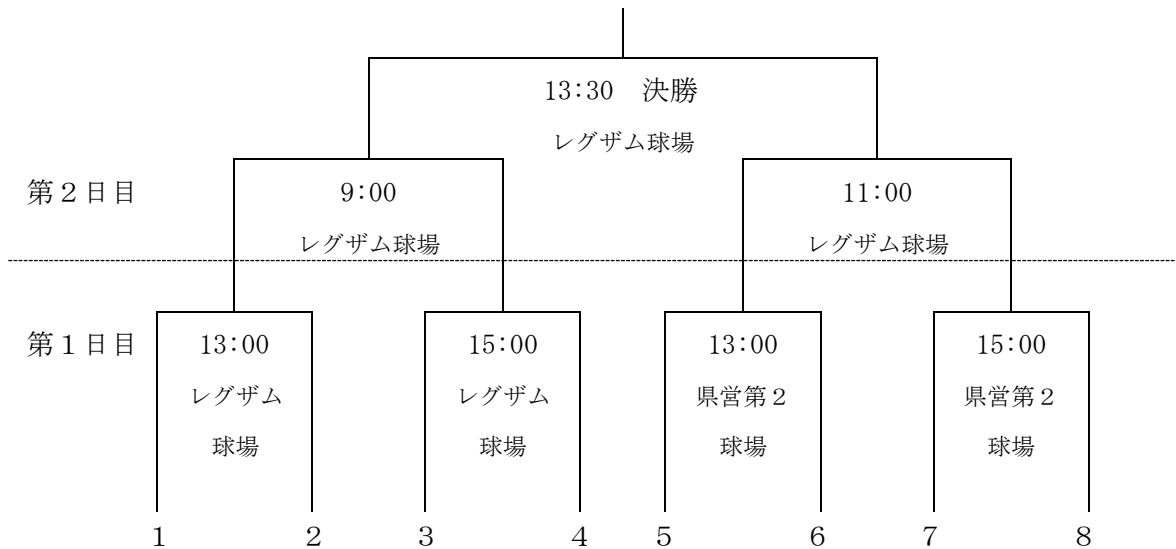
- (1) 各県2チームとする。
- (2) 1チームの編成は、監督（引率責任者）1名、選手18名以内（スコアラーを含む）とする。他に教員を2名追加することができる。但し外部コーチが入る場合は、1名とし、計21名以内とする。なお、監督は背番号30をつけるものとする。

2 競技規則

- (1) 当該年度公認野球規則及び大会特別規定による。
- (2) 大会特別規定は、別に定める。
- (3) 使用球は、(公財)全日本軟式野球連盟公認B球とする。
- (4) バットは、(公財)全日本軟式野球連盟公認バットを使用する。

3 競技方法

- (1) 全試合トーナメント方式とし、各試合7回戦とする。
- (2) 得点差によるコールドゲームは適用しない。
- (3) 延長戦は全試合9回までとし、それでも勝敗が決しない場合は特別延長戦を行う。
- (4) 背番号は1～18番とし、原則としてポジション別とする。
- (5) 全試合について大会特別延長戦を適用する。
- (6) 組み合わせ



※ 開会式は、全チーム参加のもとレグザム球場にて11時30分より行う。

【大会特別規定】

【試合前】

- 1 監督に引率されたチームは、試合開始予定時刻1時間前までに到着し、その旨を大会本部に申し出る。試合予定時刻になってもチームが到着せず、それらについて何ら連絡がない場合には棄権とみなす。ただし、交通事情による到着遅延については、大会本部で協議し決定する。
- 2 第1試合のメンバー用紙交換および攻守決定は、試合開始予定時刻の40分前とする。第2試合以降は前試合の4回終了時とする。各チームの監督と主将は、所定のメンバー表を持って、本部1名と担当審判員とで打ち合わせをする。（必要部数は大会本部で決定する。）
- 3 ベンチは抽選番号の若い方を1塁側とする。
- 4 シートノックについては以下の通りする。
 - ① 試合当日の最初の試合のみとするが、球場が変わった場合はこの限りでない。
 - ② 時間は7分以内とする。
 - ③ 後攻のチームが先に行う。
 - ④ 監督・コーチ・登録選手の他に3名の補助員をつけて行うことができる。ただし、補助員はヘルメットを着用すること。
 - ⑤ ノッカーは選手と同一のユニフォーム・スパイクを着用する。
 - ⑥ 相手チームがシートノックをしている時はベンチからでない。但し、先発投手の投球練習場での投球練習は認める。
 - ⑦ 守備練習であるからマウンドでの投球練習は認めない。
- 5 バット・マスク・ヘルメット等の用具は、試合前に審判の確認に応じなければならない。

【試合中】

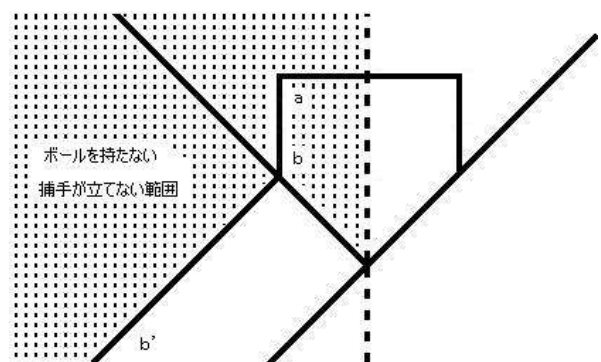
- 6 暗黒・降雨・雷などの悪天、日没のため試合続行ができなくなった場合は、原則として再試合にせず、翌日の第1試合に先立って特別継続試合（サスペンデッドゲーム）を行う。
- 7 攻守交代は全力疾走で行い、先頭打者とベースコーチは、ミーティングに参加せず、直ちに所定の位置につくこと。
- 8 攻守交代のとき、投手またはプレートに最も近い野手が、球を投手板近くに置くこと。
- 9 試合中の球場内では、次打者以外は素振りなどをしてはいけない。その際、投手の投球が始まったら、次打者席で低い姿勢で待つこと。
- 10 投手の準備投球は、初回と投手交代のときは7球以内とするが、2回以降は3球とする。（審判が状況を考慮する。）また、予備捕手は安全のため、マスクをかぶる。
- 11 メガホンの使用は、監督のみとする。
- 12 選手交代の申し出は、監督が行う。コーチは試合前のノックを行うとき以外は、ベンチから出ないものとする。

- 13 審判員に対して、規則適用上の疑義については、当事者と監督が直接、質問することができる。
- 14 走者のいるときに、投手が球を持たないで投手板のすぐそばに立ち、野手が隠し球の行為をしようとしたとき、明らかに相手チームが気づいている場合は即注意をし、球を投手に戻させる。
- 15 突発事故が起きた場合に、一時走者を代えたいときは球審に申し出て、審判団が必要と認めた場合は、これを許可する。臨時代走は、投手・捕手を除く打者前位の者とする。
- 16 試合進行上、打者席を外すことや、無用なタイムは慎み、サインは打者席から見るなどスピーディな試合進行を心掛ける。ボール回しは、試合の進行上禁止することがある。
- 17 本塁打を打った打者に握手を求めるために、グラウンドに出てはいけない。
- 18 危険防止のため、次のことを徹底する。
- (1) バットリング、鉄棒等の球場への持込を禁止する。
 - (2) 足を上げてのスライディングは禁止し、現実に妨害になった場合は、走者をアウトにする。
 - (3) 捕手のレガース・プロテクター・ヘルメット・スロートガードと、打者と走者の両耳付きヘルメットは必ず着用すること。また、リストバンド及びハイカットストッキングの使用を禁止する。
 - (4) 規則7・06(a)【付記】(捕手のブロック)の適用について、中学校野球では『ボールを保持しているときしか塁線上に位置することはできない』こととする。

[規則適用上の解釈]

- ① 走塁妨害を適用するのは、あくまでも捕手のその行為がなければ当然本塁に到達できたと判断できる場合である。
- ② 捕手のその行為が走塁妨害にもかかわらず、瞬間的に、『アウト』のコールをした場合でも改めて「オブストラクション」の宣告をしない。
- ③ 走塁妨害適用外であってもそのような行為があった場合は、試合を停止したうえ、捕手に対して嚴重注意すること。
- ④ ボールを保持する前の位置は次の通りとする。
 - ア ホームベースの中央線より右側に立ちベースの左半分走者に見えるようにすること。
 - イ また、捕手がホームベースより後方に位置するときでも、ホームベースと3・本間のラインが重なる3塁よりの接点(右図b-b'点)から前方に出てはいけない。
- ⑤ 捕球してからの動き

ボールを保持しているときは塁線上に移動してタッグをしてもよい。



- 19 規則3・03原注〔前段〕「投手は、同一イニングで投手以外の守備位置についたら、再び投手となる以外他の守備位置に移ることもできないし、投手に戻ってから投手以外の守備位置に移ることもできない

い」は適用しない。

[規則適用上の解釈]

中学校野球では、登録人員の関連で本規則を適用しないとしたものである。審判員は、これを作戦上の目的等、本来の趣旨からはなれて利用されることのないように、留意しなければならない。

20 交代して一度退いた選手は、ウォーミングアップなどの相手のほか、ベースコーチ、伝令も許される。
(3・03注関連)

21 監督が投手のところに行く回数の制限

- ① 「投手のところに行く」とは、監督がタイムを取ってグラウンドに出て、投手または投手を含む野手が集まっている所で指示を与える状態を指す。投手の方からファールラインを超えて監督の指示を受けた場合も同じとする。
- ② 伝令を使うか、捕手または他の野手に指示を与えて直接投手のところに行かせた場合もあてはまる。
- ③ ボールデッド中で改めてタイムを取る必要がない状態の時も、同じ行為であればあてはまる。
- ④ 監督が、同一イニングに同一投手のところへ2度目に行った場合、投手は交代となる。但し、交代した投手が他の守備位置につくことは許される。
- ⑤ 監督は1イニングに同一投手であれば交代なしで1度行くことができる。ただし、試合進行に関わり、必要がないのにタイムを取ることは慎む。
- ⑥ 相手チームのタイム中に投手のところへ行くことは差し支えないが、プレイの再開を遅らせた場合は、投手のところへ行ったことと見なされる。

22 守備のタイムに関わる制限

- ① 捕手を含む内野手が投手のところへ行き守備のタイムを取る回数は、7イニングの試合にあっては3度以内とする。
- ② 野手(捕手も含む)が投手のところへ行った場合、そこへ監督が行けば、双方一度として数える。投手交代の場合はその回数に含まない。
- ③ ボールデッドで改めてタイムを取る必要がない状態の時も、同じ行為であれば回数に数える。
- ④ 延長戦(特別延長戦も含む)となった場合は、2イニングに1度とることができる。
- ⑤ 監督がタイムを取った場合は、選手の取った回数に含めない。
- ⑥ 集まれるのは投手と捕手を含めた内野手、伝令だけとする。
- ⑦ 試合進行に関わり、必要でないのにタイムをとることは慎む。

23 延長戦は9回までとし、それでも勝敗が決着しない場合は、次のような特別延長戦を行う。

〈特別延長戦〉

継続打順で、前回の最終打者を一塁走者とし、二塁、三塁の走者は順次前の打者とする。すなわち、無死満塁の状態にして一イニング行い、得点の多いチームを勝ちとする。勝敗が決しない場合は、さらに継続打順でこれを繰り返す。なお、通常の延長戦と同様に、規則によって認められる選手の交代は許される。

24 応援団は次の禁止事項を守ること。なお、これについては各チームの監督が責任を持って指導すること。

- ① 紙吹雪・テープ・個人名を書いたのぼり等を禁止する。
- ② 相手チームをやじったり、相手チームに不利を招いたりするような応援をしない。
- ③ 応援席周辺を散らかさない。ごみは持ち帰る。
- ④ 球場の設備を傷つけたり、ゲームを妨害したりするような応援はしない。
- ⑤ スタンドでの応援は、投手がセットポジションに入ったら、声のみの応援とし、太鼓、メガホン、ペットボトル等の全ての鳴り物の使用を中止する。また、相手投手の集中を途切れさせるような意図的な大きな声は発しない。また、ブラスバンドの演奏は試合前後、イニングの間に限る。

【試合後】

- 25 試合終了の挨拶は、ホームプレートをはさんですべて完了することとし、次の試合のために速やかにベンチをあけること。
- 26 各チームの監督は、球場を去る前（試合終了30分以内）に大会本部に連絡をし、次の日程などを確認する。

【その他】

- 27 コーチは平服（ワイシャツ・ネクタイまたは白いポロシャツおよび選手と同一の野球帽子）または、選手と同一のユニフォームとする。また、ノッカーを兼ねる場合には、選手と同一のユニフォーム・スパイクを着用し、背番号は付けない。ただし、コーチが女性の場合は考慮する。（サングラスは使用しない）
- 28 監督・コーチは、選手と同一のユニフォーム・スパイクを着用し、監督は背番号30番をつける。
- 29 コーチは、試合前のノック以外は、ベンチから出ないものとする。
- 30 選手のテーピングは、皮膚の色に近い色のものを用い、投手は投球に影響を与えるものは使用できない。また、リストガード、サポーター等は医療目的以外では使用を認めない。使用をする場合は、メンバー交換時に申し出ること。
- 31 イニング交代時などの予備捕手については、ヘルメット・マスクを着用する。また、いかなる時も投球練習を座って受けるときは、安全の為マスクを着用する。
- 32 選手の頭髪や身なりは中学生らしく、試合中はもちろんのこと、試合後においてもスポーツ選手らしく、マナーについては十分に考慮する。
- 33 天候等による大会実施の可否、試合の中断及び日程の変更は、大会本部で決定し、連絡する。
- 34 ベースコーチは、ヘルメットを着用する。
- 35 メンバー交換後から、試合開始前の両チームの整列までの間に、スターティングメンバーが体調不良やケガなどの不慮の事態が生じた場合、メンバー記載の控え選手を交代出場させることができる。その際は、該当チーム監督がベンチから出て審判に直接報告に行く。なお、先発出場を取り下げた選手は、試合復帰が可能な状態になれば試合に出場できる。

【体操競技】

1 参加規程

(1) 団 体

各県1チームとする。(県大会で優勝した学校を県代表とする。)

チームは同一校4名と補欠2名をもって編成する。(最低構成人数は3名)

(2) 個 人

県大会における個人総合成績上位4名が出場権を得る。

4名の中に団体チームの選手がいる場合、繰り上げとなる。

団体チームがない場合は、個人8名までの出場を認める。

2 競技規則

(1) 日本体操協会制定男子採点規則当該年度版中学男子適用規則を採用する。

(2) 日本体操協会制定女子採点規則当該年度版中学女子適用規則Ⅰを採用する。

(3) 男子規定演技は、男子体操競技ジュニア規定レベルⅠ(2005～)を適用する。

(4) 申込後、選手変更がある場合は、「変更届」を専門部長会で大会本部に提出する。

(5) 競技種目

(男子) ● ゆ か (広さ: 12m平方 時間: 自由演技~70秒)

● あ ん 馬 (高さ: 115cm)

● 跳 馬 (高さ: 125cm 自由: 1助走1演技・規定: 2演技の平均)

● 鉄 棒 (高さ: 275cm)

(女子) ● 跳 馬 (高さ: 125cm 自由: 3助走2演技)

● 段違い平行棒 (高さ: 上棒250cm, 下棒170cm<20cmマット>)

● 平 均 台 (高さ: 125cm<20cmマット> 長さ5m 幅10cm 時間~90秒)

● ゆ か (広さ: 12m平方 時間~90秒)

3 競技方法

団体総合

男子=3種目(ゆか, 跳馬, 鉄棒)の規定・自由演技の各種目のベスト3の合計とする。

女子=3種目(跳馬, 平均台, ゆか)の自由演技の各種目ベスト3の合計とする。

個人総合

男子=4種目(ゆか, あん馬, 跳馬, 鉄棒)の規定・自由演技 計8種目の合計とする。

女子=4種目(跳馬, 段違い平行棒, 平均台, ゆか)の自由演技 計4種目の合計とする。

4 その他

(1) 男女各2名の審判を各県から帯同する。

(2) 服装は、体操競技にふさわしいユニフォームを着用すること。

● 審判の服装 男：上…白 下…グレー（スラックス）

女：上…白 下…紺（スカート，スラックス）

● 監督・チームリーダー・外部指導者は、短パン厳禁。

(3) 演技順序は、種目毎にオーダー表により行う。

● 男子規定：個人 → 団体

● 男子自由：団体 → 個人

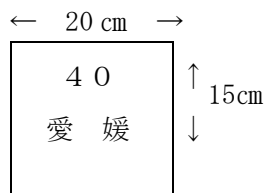
(4) 演技内容は、危険性のないようチームで責任を持つ。

(5) 背番号を必ずつけること。

大きさ：たて15cm よこ20cm

男子：白地に黒文字 女子：白地に赤文字

背番号	団 体		個 人
県 名	正選手	補 欠	県大会下位のものからつける
香 川	10～13	14～15	16 ～ 19
徳 島	20～23	24～25	26 ～ 29
高 知	30～33	34～35	36 ～ 39
愛 媛	40～43	44～45	46 ～ 49



(6) チームの演技順は、抽選で決める。

(7) フロアには、選手・監督（チームリーダー）及び各校1名のコーチ（コーチ証表示）が入ってよい。

(8) 採点間の練習を認める。ただし、移動前の次種目の練習は認めない。

(9) 演技前のアップ時間

女子：1人跳馬2本，平均台・ゆか30秒，段違い平行棒50秒以内とする。

男子：1人30秒とする。

(10) 女子個人出場の選手には、1名の音楽係をつけてよい。

(11) 競技規則に従い、セーフティーマットは、薄いものを入れる。薄いものがない場合は、普通のセーフティーマットの使用も可とする。

(12) 会場により、器械の規格、高さ、マットの厚さ等、完全には対応できない場合がある。

【新 体 操】

—女 子—

1 参加規程

(1) 団 体

各県2チームとする。

1チーム5名とし、3名の補欠を申し込むことができる。 ※ 必要最低人数5名

(2) 個 人

個人は、各県3名とする。

2 競技規則

(財)日本体操協会制定 新体操競技規則当該年度版ジュニアルール及び、当該年度中体連ルール(ホームページ確認)を適用する。

団体及び個人の選手は、それぞれの学校を示す標識(マーク)を前面ウエストより上につける。マークの大きさは、3cm×3cm以上の大きさとする。(団体は同一のマークであること)

3 競技種目及び競技方法

(1) 団体は、自由演技のみとし、手具は「ボール5」とする。

(2) 個人は、自由演技のみとし、手具は「ロープ・フープ」とする。

(3) 演技時間 団体女子：2分15秒～2分30秒とする。

個 人：1分15秒～1分30秒とする。

4 その他

(1) 演技順序は、抽選による。

(2) 3名の審判員は、各県より帯同する。

(3) フロアーマットを使用する。

(4) 個人・団体とも申告用紙を6部提出する。申告用紙は、大会前日の受付で提出する。

2枚の場合は、ホッチキスで留めること。

(5) 撮影許可証を希望する学校は、必要部数を参加申込書に記入する。

(6) ビデオ、カメラの撮影は撮影許可証を持った人のみとする。

(7) 外部コーチは、外部コーチ証をつけること。

(8) 申込後、登録選手に変更がある場合は、「変更届」を監督会議にて本部に提出すること。

(9) 団体競技終了後、個人練習時間までを10分とする。

(10) 審判は、年度ごとに縦列で右にローテーションとする。

審 判			1	2	3	4
	女 子 団 体	D	香川	高知	愛媛	徳島
		E	愛媛	徳島	香川	高知
	女 子 個 人 ロープ・フープ	D	高知	愛媛	徳島	香川
E		徳島	香川	高知	愛媛	

－男 子－

1 参加規程

(1) 団 体

各県2チームとする。

1チーム6名とし、2名の補欠を申し込むことができる。

(2) 個 人

実施しない。

2 競技規則

(財)日本体操協会制定 当該年度適用男子新体操規則を採用する。

3 競技種目及び競技方法

(1) 団体は、自由演技とする。

(2) 演技時間は、3分以内とする。

【バレーボール】

1 参加規程

各県男女各2チームとする。

2 競技規則

(1) 当該年度（公財）日本バレーボール協会6人制競技規則で行う。

※リベロプレーヤーは2名とする。

(2) ネットの高さは、男子2m30cm、女子2m15cmとする。

(3) ボールは4号球で、人工皮革・カラーボールとする。

(4) ラインアップシートは試合ごとに作成し、トスの際、キャプテンがレフリーに提出する。

(5) ベンチに入る者は、選手12名以内と監督、コーチ、マネージャー（生徒に限る）各1名とする。

監督は、当該校の校長・教員であり、引率者としての責任を負う。

コーチが外部指導者（コーチ）の場合は、当該校の校長が認めた者で、外部指導者（コーチ）

証をつけること。

※監督・コーチの服装は、統一されたものとする。（短パンは不可）

(6) 公式練習は毎試合ごとに行う。

(7) 試合前の練習は、合同5分からボールを使用できるが、それまではコートに入れない。

(8) 3位決定戦は行わない。

(9) 給水のためのタイムアウト（WTO）を実施する。

3 競技方法

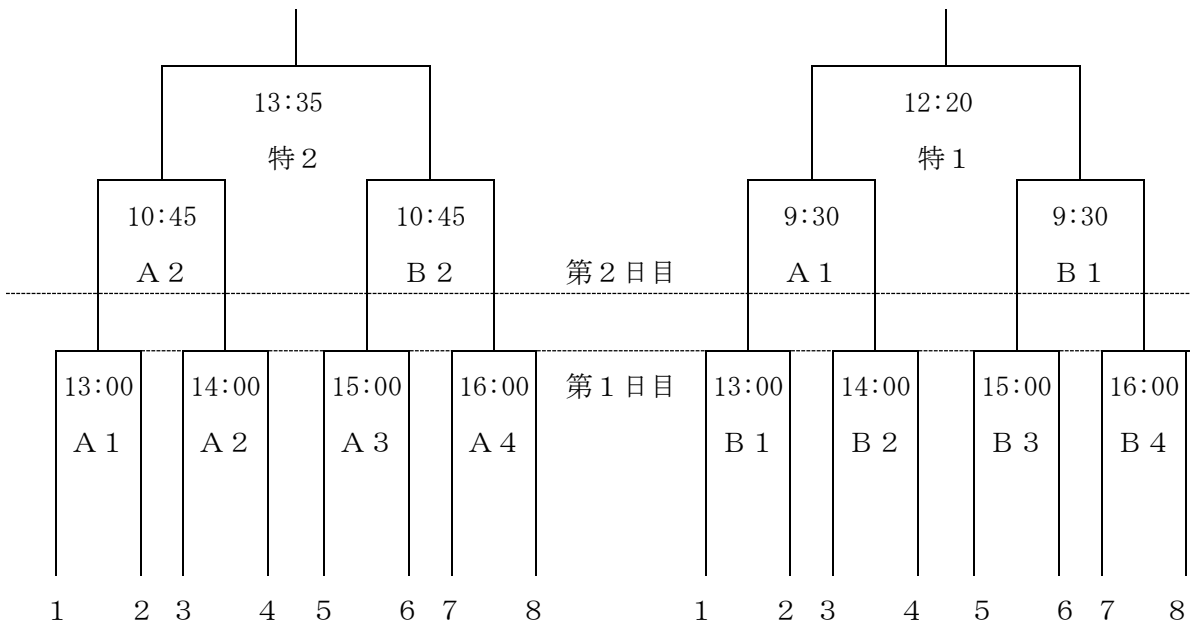
(1) トーナメント方式とする。

(2) 設定時間は、試合開始時間とする。

(3) 組合せ

[男子]

[女子]



【ソフトテニス】

1 参加規程

(1) 団体戦

各県男女各2チームとする。各県の団体戦の成績順位で、上位2チームを選ぶ。

(2) 個人戦

各県男女8組。各県の個人戦の成績順位で、上位8組を選ぶ。

2 競技規則

(1) 競技規則は現行の日本ソフトテニス競技規則及び大会開催要項による。

(2) 使用球は公認球（白）を使用する。

(3) ユニフォームは、上は襟付・半袖のスポーツシャツ、下は短パン・膝より上のパンツ、スコート（ショートパンツ）を着用すること。

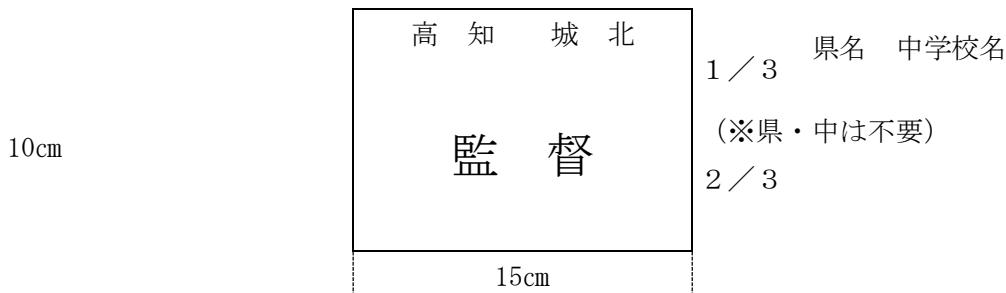
〔注意〕 服装（用具を含めて）の色等は華美にならないようにし、公認メーカーのものを使用する。
スパッツの着用は認めない。

(4) テニスシューズを必ず履くこと。

(5) ソックスは、くるぶしより上の長さで、ハイソックスは認めない。

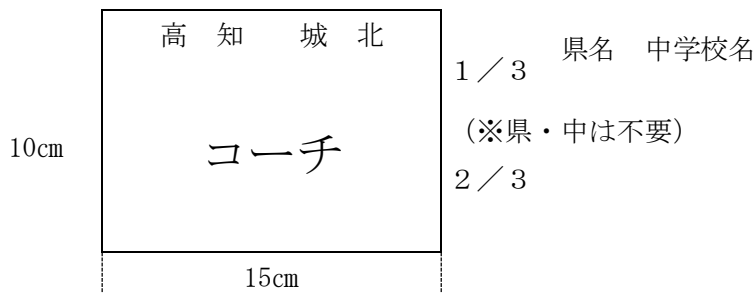
(6) 監督がベンチに入る時は、襟付のスポーツウェアを着用し、テニスシューズを必ず履くこと。また、監督は胸にゼッケンを付けること。なお、背中中のゼッケンは不要とする。

〔監督のゼッケン〕



(7) 外部指導者（コーチ）のベンチ入りを認める。【外部指導者（コーチ）証】を所持すること。

〔外部指導者（コーチ）のゼッケン〕



(8) 選手変更について

① 個人戦で1名が病気等で出場不可能になった場合は、「変更届」を大会本部に提出する。

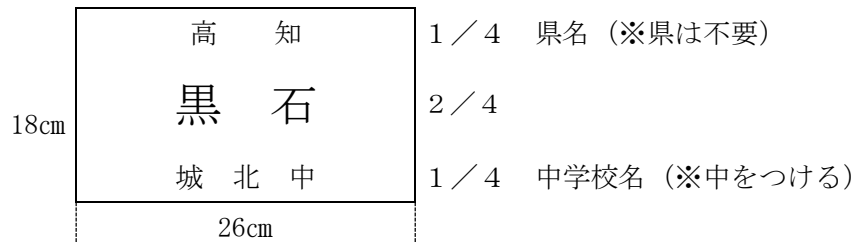
② 団体戦で、申し込み後、メンバーを変更し直す場合は、「変更届」を大会本部に提出する。

(9) ハチマキには正面に特別な文言や記号を後から記入もしくは印刷し、使用してはいけない。ただし、ハチマキの端の部分に「学校名・名前」を記入してもよい。帽子・サンバイザーもこれに準ずる。

(10) 背中のゼッケンを各校で別の布などで作成し、背中に縫いつけること。着脱しやすいようにホック、マジックテープで止めることは可とする。ただし、安全ピンは不可とする。

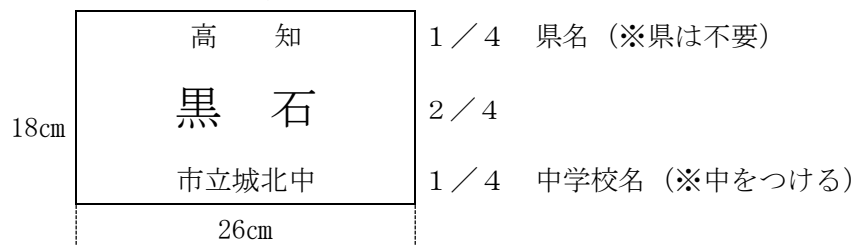
- ① ゼッケンはB5版横（白地）の大きさの布に都道府県名，姓，学校名を3段で記述する。また，県名の「県」の文字はつけず，中学校の「中」の文字はつけるものとする。
- ② ゼッケンの文字は「漢字」，「ひらがな」，「カタカナ」を使用し，文字色は「黒」とする。シャツそのものへのプリントは認めない。

《例1》高知県 高知市 高知市立城北中学校 黒石 正雄



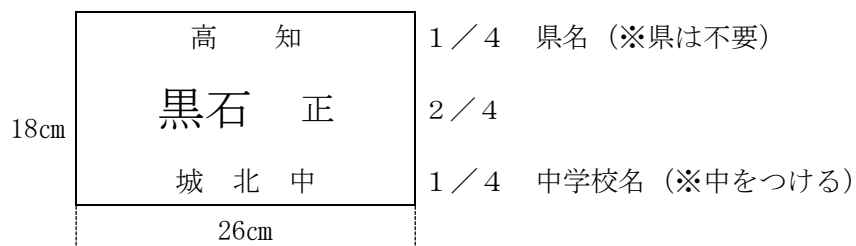
- ③ 県内で同名の中学校がある場合には，区別するために中学校名の工夫をしてもよい。（各地区ごとに望ましい表記をする。）

《例2》高知県 高知市 高知市立城北中学校 黒石 正雄



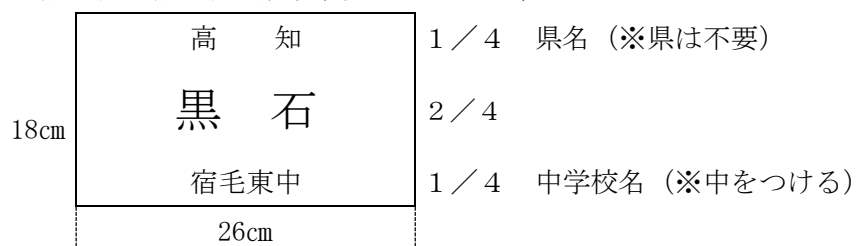
- ④ ゼッケンの文字の位置は《例1》どおりとし，同一校に同姓の選手がいる場合には，名前の一文字を付け加える。

《例3》高知県 高知市 高知市立城北中学校 黒石 正雄



- ⑤ 中学校名が第一・第二中学校や東・西・北・南中学校のような場合には，学校名を分かりやすくするために学校所在地を付記してもよい。

《例4》高知県 宿毛市 宿毛市立東中学校 黒石 正雄



※ 従来のゼッケンでもよい。

3 競技方法

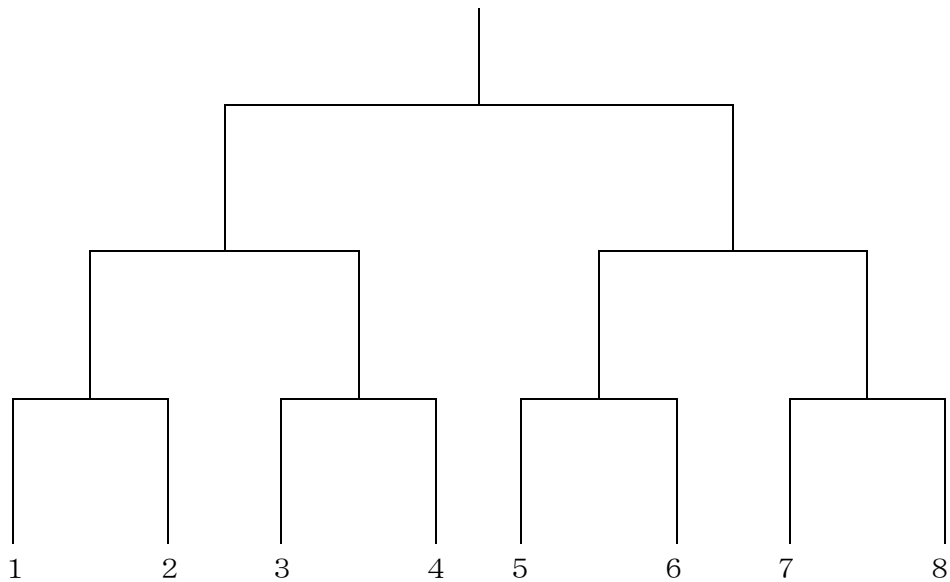
- (1) 団体戦は各県から選抜された男女各 8 校（監督 1 名と選手 6 名で 1 チーム編成登録 8 名以内）によるトーナメント方式の団体点取法。※必要最低選手数 4 名
- (2) 個人戦は各県から選抜された男女各 32 組によるトーナメント方式。
- (3) 個人戦が重なった場合のみ、当該校の教員を監督として複数付けることができる。
- (4) その際には、監督追加届を提出すること。
- (5) 試合のゲームは 7 回ゲームとする。
- (6) 試合開始時刻は、次のとおりとする。

（第 1 日目） 11：00～ 開会式 （第 2 日目） 9：00～ 開始式
 11：30～ 団体戦 9：30～ 個人戦

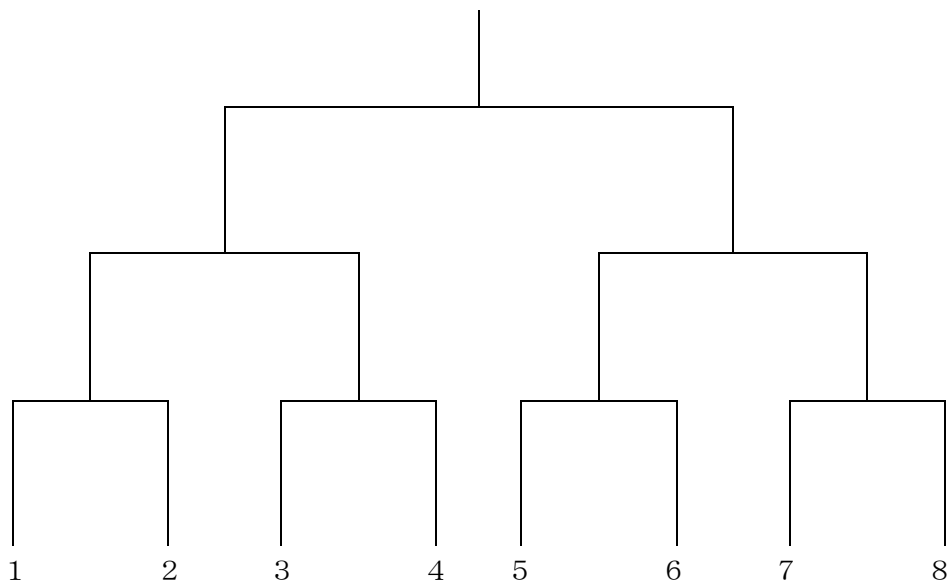
※ 第 5 代表決定戦は、準々決勝で敗れた 4 組で抽選を行い、トーナメント方式で決定する。

- (7) 組合せ

[男子]



[女子]



【 卓 球 】

1 参加規程

(1) 団体戦

各県男女3チームとする。(選手8名以内、監督1名で編成)

* 必要最低選手数 6名(全校生徒が卓球部の場合は4名)

* 監督の他にアドバイザーとして、出場校の教職員または校長の承認を得た外部指導者(コーチ)1名のベンチ入りを認める。

(2) 個人戦

各県男女上位10名とする。

* アドバイザーとして、選手1名につき1名のベンチ入りを認める。但し、校長、教職員、生徒、校長の承認を得た外部指導者(コーチ)のいずれかとする。

2 競技規則

(1) 現行の日本卓球協会が制定したルールによる。

(2) 試合球は40mm、ホワイトボール(硬式認定球)とする。

セルロイド球とプラスチック球の併用とする。

(3) ユニフォームは、J T T A A (日本卓球協会)のマークが入っている公認ユニフォームを着用する。

(4) ゼッケン

① 出場選手は、ユニフォーム背部に、白布に選手名(姓)・県名・学校名を記入したゼッケンを必ずつけて出場する。

② ゼッケンは、日本卓球協会交付のものでもよい。

	25 c m
選手名(姓)	12.5 c m
県名	4 c m
学校名	6 c m

(5) 選手、監督、アドバイザーに変更がある場合は、監督者会議で「変更届」を提出すること。

3 競技方法

(1) 試合日程

<第1日目>

① 12:00 ~ 団体戦予選リーグ(5番まで)

② 終了後 団体戦決勝トーナメント1回戦(3点先取)

<第2日目>

① 9:00 ~ 団体戦決勝トーナメント準決勝・決勝及び代表決定戦

(3点先取)

② 12:00 ~ 個人戦

(2) 団体戦

- ① 3チームずつのW組, X組, Y組, Z組の4リーグに分けて予選を行う。
- ② 各リーグに同県チームが入らないように抽選し, 試合順序は次のとおりとする。

	(I)	(II)	(III)
W	A 1	B 2	C 3
X	B 1	C 2	D 3
Y	C 1	D 2	A 3
Z	D 1	A 2	B 3

※ 試合順序

第1試合 (II) - (III)

第2試合 (I) - (II), (III)の敗者

第3試合 (I) - (II), (III)の勝者

- ③ 予選リーグ終了後, 各リーグの1位・2位チームは, 決勝トーナメントへ進出する。
(1日目は, 1回戦まで行う。)

(ア) 各リーグの1位チームから抽選する。

- * 勝ち上がりの多い県から抽選する。(同数の場合はジャンケン)
- * 同県チームは, 左右に分ける。

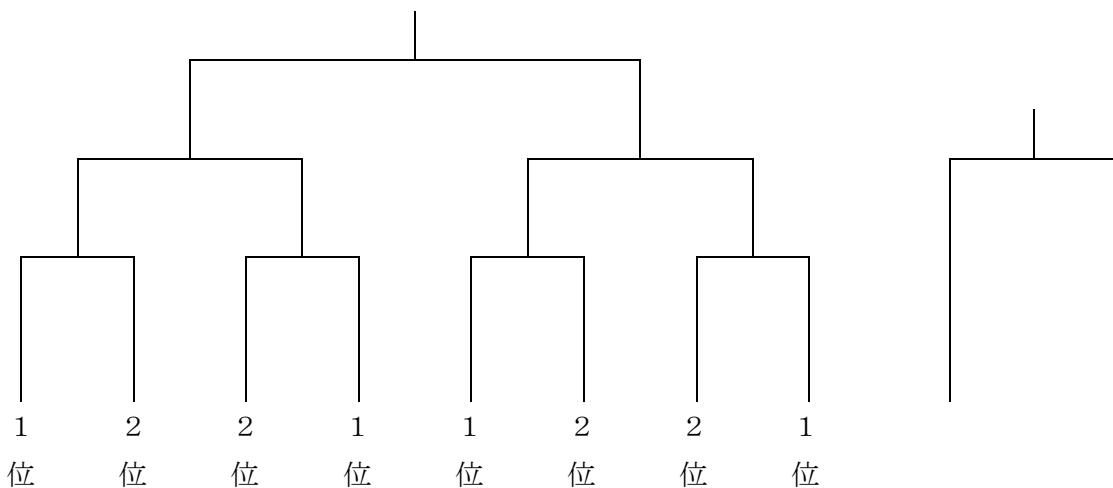
(イ) 各リーグの2位チームは, 次のことに考慮して抽選する。

- * 1回戦での同県対戦は避ける。
- * 1回戦での同リーグ対戦は避ける。

- ④ 2日目は, 決勝トーナメント準決勝より始め, 決勝及び代表決定戦を行う。

<決勝トーナメント>

<代表決定戦>



- ⑤ 4シングルス・1ダブルスで, 3番目にダブルスをおく。
- ⑥ 予選リーグはすべて5番まで行い, 決勝トーナメント・代表決定戦は3点先取法とする。
- ⑦ シングルスとダブルスは重複できない。

(3) 個人戦

シングルスのみとし, トーナメント方式による。

【バドミントン】

1 参加規程

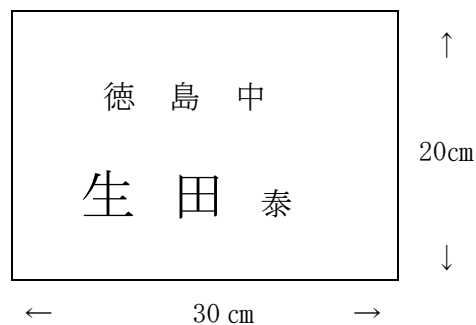
- (1) 各県男女とも次のとおりとする。

	高 知	愛 媛	香 川	徳 島	合 計
団体戦	2	2	2	2	8
個人戦シングルス	3	3	3	3	12
個人戦ダブルス	3	3	3	3	12

団体構成 … 団体戦チームは監督1名、コーチ又はマネージャー1名、選手5～7名を同一校で結成する。※必要最低選手数5名

2 競技規則

- (1) 当該年度（公財）日本バドミントン協会競技規則・同大会運営規程及び同公認審判員規程による。
- (2) シャトルは、室温に適した（公財）日本バドミントン協会第2種検定合格水鳥球を使用する。
- (3) 外部指導者（コーチ）については、所属校長が認めた外部指導者（コーチ）証を胸につけた者に限る。
- (4) 競技時の服装は、色つき着衣を使用する場合は、（公財）日本バドミントン協会審査合格ウェアとする。
- (5) 上衣の背面中央部には、たて20cm、横30cmの範囲内に校名及び姓の表示をすること。また、黒か紺の日本語（楷書）で明記すること。同姓の場合は、名前の1字目を小さく入れる。



3 競技方法

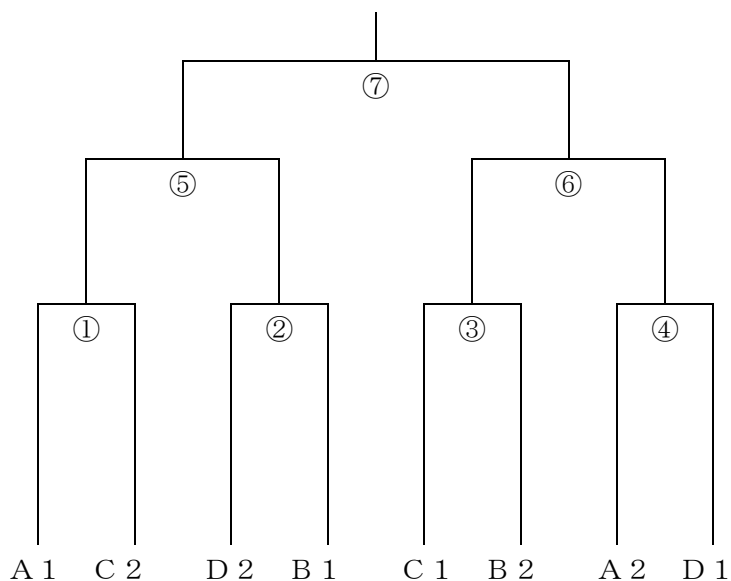
- (1) 男女とも学校対抗団体戦及び個人戦を行う。
- (2) 団体戦、個人戦ともトーナメント方式で行う。
- (3) 個人戦は、第3代表決定戦を行う。
- (4) 団体戦は、複2単1の対抗とし、複・単・複の順に行う。
(同一選手が、単と複、複と複を兼ねて出場できない)
- (5) 個人戦は、単と複を兼ねて出場することはできない。
- (6) 競技日程は、次のとおりとする。

- ① 1日目 開会式 団体戦

② 2日目 個人戦 閉会式

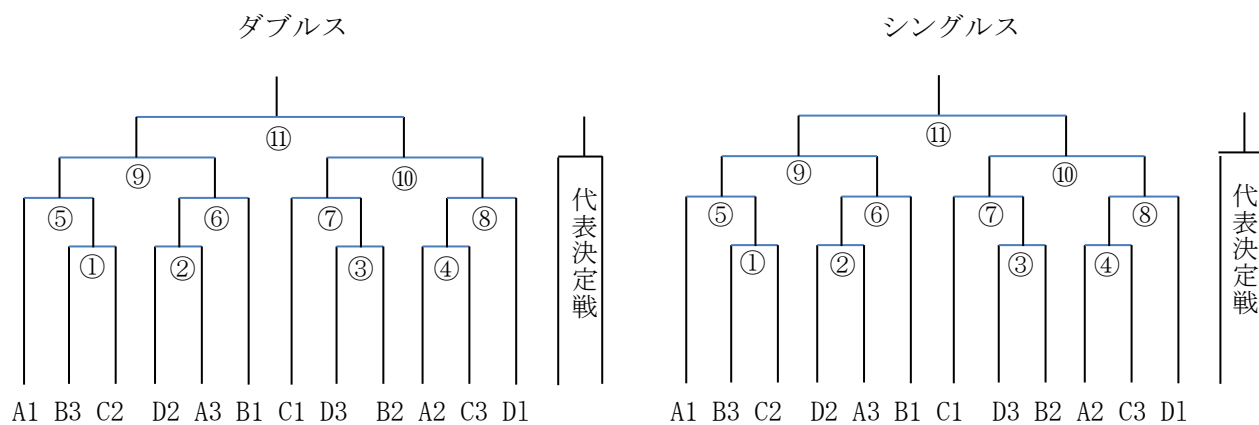
(7) 団体戦の試合方法は、次のとおりとする。

〔男子・女子〕



(8) 個人戦の試合方法は、次のとおりとする。

〔男子・女子〕



4 その他

- (1) 団体戦における負傷・疾病などによる選手の変更は、「変更届」(理由を記入)を監督会議で提出すること。
- (2) 個人戦における選手の変更は認めない。

【ソフトボール】

1 参加規程

各県男女各2チームとする。

2 競技規則

- (1) 本大会は当該年度（公財）日本ソフトボール協会オフィシャル・ソフトボール・ルールによる。
- (2) プレイヤーは18名（スコアラー1名を含む）とし、他にベンチ入りは、引率責任者1名、監督1名、コーチ1名、合計21名以内とする。
- (3) フィールドイングは、競技場に入ることを許されたメンバー（プレーヤーは18名以内）で行わなくてはならない。
- (4) 試合開始予定時刻30分前までに当該球場に集合すること。
- (5) 安全のため、金属製及びセラミック製のスパイクの使用は禁止する。
- (6) 同一チームの監督・コーチ・プレーヤーのユニフォームは、同色・同意匠でなければならない。また、背中と胸下にユニフォームナンバーをつける。監督は30、コーチは31・32、主将は10とする。ただし、コーチは所属学校の校長または教員、または、校長の承認を得てコーチ登録をした者に限る。所属学校の校長または教員以外のコーチは、胸に指定の記章をつけなければならない。また、コーチにはフィールドイングは認めるが、選手交代・打ち合わせ・抗議等の権限は認めない。また、ベンチから出て指示することも認めない。
- (7) 捕手は、スロートガード付きマスク、捕手用ヘルメット、ボディプロテクター、両足に膝当て付きレガーズを着用しなければならない。なお、準備投球の時、競技場内のいかなる場所で投球練習するときも必ずスロートガード付きマスク、捕手用ヘルメットを着用しなければならない。
- (8) 打者・打者走者・走者・次打者・ベースコーチは、ヘルメットを着用しなければならない。
- (9) 1・3塁のベースコーチは、プレーヤーのみとする。
- (10) チームのメンバーは、声を出したり動作で投球のコースを教えるてはならない。
- (11) 試合終了後のあいさつですべて完了とし、次の試合のためにベンチを速やかにあける。なお、対戦チーム、バックネット裏へのあいさつは一切行わない。
- (12) 役員テント、本部テントに大会関係者以外は入れない。
- (13) 監督会議には、ユニフォームを着用して出席すること。

3 競技方法

- (1) 試合方法は、トーナメント方式とし、男子は順位決定戦を行う。
- (2) 試合会場は、次のとおりである。なお、開会式は、A・Cコートで行う。
男子：東温市かすみの森公園 女子：松山中央公園
 A・Bコート C・Dコート

(3) 組合せ

〔男子〕

〔女子〕



4 その他

大会参加申込書提出後の選手の変更は認めない。また、全国大会の参加選手は、ブロック大会に参加した選手に限る。

【 柔 道 】

1 参加規程

(1) 団 体 戦

① チーム編成

各県男女各2チームとする。

男子………監督1名、コーチ1名、選手7名以内とする。(3名以上での出場も認める。)

女子………監督1名、コーチ1名、選手4名以内とする。(2名での出場も認める。)

② 選手オーダーは、大将より体重の重い順に編成する。交代の選手と入れ替えた場合においても同様に体重順とする。(一度退いた選手の再出場は認めない。)

(2) 個 人 戦

① 各県各階級4名で男子32名、女子32名、計64名とする。

[男子]

- 50kg級 (50kg以下)
- 55kg級 (50kg超～55kg以下)
- 60kg級 (55kg超～60kg以下)
- 66kg級 (60kg超～66kg以下)
- 73kg級 (66kg超～73kg以下)
- 81kg級 (73kg超～81kg以下)
- 90kg級 (81kg超～90kg以下)
- 90kg超級 (90kg超)

[女子]

- 40kg級 (40kg以下)
- 44kg級 (40kg超～44kg以下)
- 48kg級 (44kg超～48kg以下)
- 52kg級 (48kg超～52kg以下)
- 57kg級 (52kg超～57kg以下)
- 63kg級 (57kg超～63kg以下)
- 70kg級 (63kg超～70kg以下)
- 70kg超級 (70kg超)

(3) 体重測定

① 団体戦・個人戦出場者の体重測定は、「公式練習時間内に競技会場」で行う。

② 1日目 8:40～11:00 (団体・個人体重測定)

2日目 8:00～9:00 (個人体重測定・前日計量未実施者のみ)

※ (出場者は全員体重測定を受けなければならない。)

2 日程

(1) 平成27年8月1日(土)

- ① 開場 8:00
- ② 体重測定 8:40～11:00
- ③ 専門部長会 9:30～10:20
- ④ 審判会議 10:30～10:50
- ⑤ 監督会議 11:00～11:20
- ⑥ 開会式 11:30～11:50
- ⑦ 競技開始 12:00
- ⑧ 競技終了後 団体戦表彰式

(2) 平成27年8月2日(日)

- | | |
|---------------------|-------------|
| ① 開場 | 7:30 |
| ② 体重測定 | 8:00 ~ 9:00 |
| ③ 専門部長会 | 8:00 ~ 8:20 |
| ④ 審判会議 | 8:30 ~ 8:50 |
| ⑤ 監督会議 | 9:00 ~ 9:20 |
| ⑥ 競技開始 | 9:30 |
| ⑦ 競技終了後 個人戦表彰式及び閉会式 | |

3 競技規則

- (1) 国際柔道連盟試合審判規定(2014~2016)及び同「少年大会申し合わせ事項」による。
- (2) 柔道衣は白色とし女子の黒帯は白線入りとする。
- (3) (公財)講道館から正式に段位証書が交付されている有段者は黒帯を用いること。

4 競技方法

(1) 団体戦

- ① 4チームずつのA・B2リーグに分けてリーグ戦を行う。
- ② 各リーグに各県1位チーム2校、2位チーム2校を含み、同県が入らないように抽選する。
- ③ リーグ戦終了後、Aリーグの1位チームとBリーグの2位チーム、Bリーグの1位チームとAリーグの2位チームを組み合わせて、決勝トーナメント方式を行う。
※選手変更は、基本的に前試合開始までに所定の場所にて受け付ける。
- ④ 試合時間は3分間とし、代表戦における延長戦(ゴールデンスコア)は無制限とする。
- ⑤ 優勢勝ちの判定基準は、「有効」以上又は「僅差(『指導』の差2以上)」とする。
- ⑥ 優劣の成り立ちは以下のとおりとする。

「一本」=「反則勝ち」>「技あり」>「有効」>「僅差」

- ⑦ リーグ方式では、チーム間の内容が同等の場合は引き分けとする。また、リーグ方式の順位は次の方法によって決定する。

ア チーム間における勝ち、引き分け、負けの率による。

イ アにおいて同等の場合は、勝ち数の合計による。

ウ イにおいて同等の場合は、勝ちの内容により決定する。

エ ウにおいて同等の場合は、負け数の合計による。

オ エにおいて同等の場合は、負けの内容により決定する。

カ オにおいて同等の場合は、1名による代表戦を1回行い、決勝トーナメント方式への出場チームを決定する(3校同等の場合は、代表者3名によるリーグ方式を行う)。

- ⑧ トーナメント方式の勝敗は、次の方法によって決定する。

ア チーム間における勝ち数による。

イ アにおいて同等の場合は、内容により決定する。

ウ イにおいて同等の場合は、1名による代表戦により決定する。

- ⑨ 代表戦は任意の選手とし、判定基準は個人戦と同様とする。3分間の本戦を行い、得点差が無い場合は延長戦(ゴールデンスコア)により勝敗を決する。

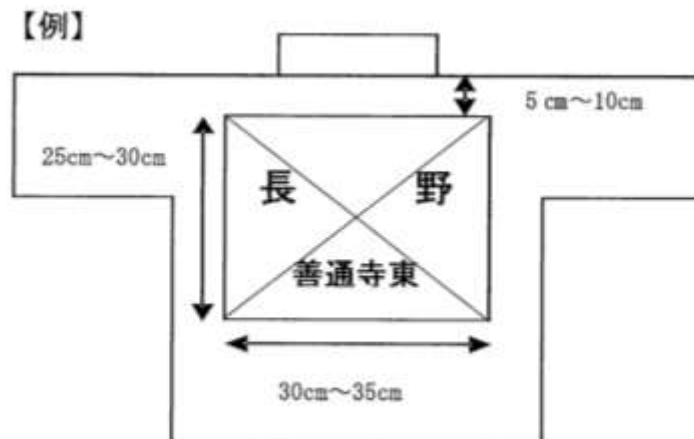
(2) 個人戦

- ①男女とも各階級16名までによるトーナメント法による。但し、参加人数が6名以内の場合はリーグ戦とする。
- ②試合時間は3分間とし、延長戦（ゴールデンスコア）は無制限とする。
- ③優勢勝ちの判定基準は、「有効」又は「指導1」以上とする。得点差が無い場合は延長戦（ゴールデンスコア）により勝敗を決する。

5 柔道衣点検 柔道衣点検は、下記の方法にて行う。

(1) 【柔道衣点検】

- ①公式計量に引き続き、柔道衣点検を行う。
- ②(公財)全日本柔道連盟柔道衣規格に合格した柔道衣（上衣・下穿き・帯）を着用すること。
- ③柔道衣に必ずゼッケン（学校名・名字入り）を縫い付けて出場すること。
 - ア 布地は白（晒、太綾）とする。
 - イ サイズは横30～35cm、縦25～30cmとする。
 - ウ 名字（姓）は上側2／3、学校名は下側1／3とする。
 - エ 書体は太字ゴシック体とする（明朝または楷書でもよい）。
 - オ 文字色は、男子は黒色、女子は濃い赤色とする。
 - カ 縫い付け場所は襟から5cm～10cm下部の位置で、周囲と対角線を強い糸で縫い付ける。



- ④女子は、上衣の下に白色または白に近い色の半袖で無地のTシャツ又は半袖のレオタードを着用すること。

※Tシャツのマーキングについては、(公財)全日本柔道連盟が定める規程（平成25年4月1日より施行）に準ずる。
- ⑤柔道衣コントロールの際は、試合時に着けるサポーター等を着用して受けること。
- ⑥胸マーキング等について、道場名等は不可とする。

6 その他

(1) 監督及びコーチは、次のとおりとする。

- ①監督は、当該校の校長・教員（非常勤講師は除く）であること。
- ②大会では外部指導者（コーチ）をおくことができる。但し、外部指導者（コーチ）は、出場校の校長が認めた者とする。1校1名とし、他校と兼ねることはできない。

※ 大会運営に支障をきたす場合は、退場させることもある。

③監督及びコーチの服装は、審判員に準ずるものとする。

(2)大会参加申込書提出後の選手の変更は、次のとおりとする。

①団体戦選手の変更は、監督会議にて「変更届」（理由を記入）を提出する。【但し、疾病や傷害等、特殊な理由のみとする。】

②個人戦選手・監督・コーチは、申込書提出後の変更は認めない。

(3)皮膚真菌症（トングランス感染症）について、発症の有無を各所属の責任者において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において、的確な治療を行うこと。もし、選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場ができない場合もある。

(4)脳震盪対応について選手及び指導者は下記事項を遵守する。

①大会前1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。

②大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。

（なお、至急専門医の精査をうけること。）

③練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。

④当該選手の指導者は大会事務局および全柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。

【 剣 道 】

1 参加規程

- (1) 団体戦 各県男女各2チームとする。 男子 正員5名(3名以上) 補員2名
女子 正員5名(3名以上) 補員2名
- (2) 個人戦 各県代表 男子 8名
女子 8名

2 競技規則

- (1) (一財)全日本剣道連盟剣道試合審判規則・細則,並びに当該年度(公財)日本中学校体育連盟剣道競技部申し合わせ事項によって行う。
- (2) 団体戦(予選リーグ)順位の判定は勝ち点による。(勝ち:1.0点,引き分け:0.5点,負け:0点)同じ勝ち点の場合は勝者数,総本数の順で行う。
- (3) 竹刀の検査(計測,計量)を行う。竹刀の長さは,男女とも114cm(約3尺7寸)以内,重さは男子が440g以上,女子は400g以上とする。竹刀の先は,男女とも長さ50mm以上の先皮を使用し,太さは男子直径25mm以上,女子直径24mm以上とする。
- (4) 不正用具を使用した場合は,試合規則第19条-1,2,3を適用する。ただし,決勝トーナメント戦は補員を認める。(団体,個人は別ものとする。)
- (5) 補員として申し込みのない者は,選手の位置に入れることはできない。
- (6) オーダーは申し込みの通りで,変更は認めない。
- (7) 団体戦では,一度選手として去った者は,再び選手として出場できない。
- (8) 服装は剣道着及び袴を着用,たれの前に学校名(横)・姓(縦)をつける。
- (9) 「突き技」は禁止とし,反則とすることもある。(技としては反則とする)
- (10) 上段の構えはとらせない。隻腕については,その都度協議する。二刀については,使用させない。「片手打ち」は有効打突としない。
- (11) アイガード・ポリカーボネット面及び化学繊維竹刀の使用は認める。
- (12) サポーターなどの使用(足袋・テーピング,コルセットを含む)については,医療上必要と認める場合に限り使用を認める。使用する場合には各試合場主任に届け出たうえで許可を得ること。また,肘や膝などにつける物を足に使用したり,ゴムや革およびすべり止めを底に貼った物の使用は禁止する。届け出と違う物を使用した場合は,替えさせる。指先単独のテーピングについては届け出不要とする。
- (13) 監督及び引率者は,出場校の校長・教員とする。

3 競技方法

- (1) 団体戦
- ① 4チームずつのA・B2リーグに分けてリーグ戦を行う。
 - ② 各リーグに各県1位チーム2,2位チーム2を含み,同県チームが入らないように抽選する。
 - ③ リーグ戦終了後,Aリーグの1位チームとBリーグの2位チーム,Bリーグの1位チームとAリーグの2位チームを組み合わせて,決勝トーナメント戦を行う。
- (2) 個人戦の試合は,3分3本勝負,勝敗の決しない場合は,延長を勝敗が決するまで行う。
- (3) 団体戦は3本勝負,試合時間は3分とする。ただし,勝敗の決しない場合は,予選リーグにおいて,引き分け,決勝トーナメント戦においては,2分間の延長を行い,勝敗の決しない場合は引き分けとする。
- (4) 団体戦(予選リーグ)順位の判定は勝ち点による。(勝ち:1.0点,引き分け:0.5点,負け:0点)同じ勝ち点の場合は,勝者数,総本数の順で決定する。すべて同数の場合は,任意の代表者による決定戦を,予選リーグ終了後に行う。この場合は,試合時間3分で1本勝負とする。勝敗の決しない場合は,延長を勝敗が決するまで行う。

【 相 撲 】

1 参加規程

- (1) 団体戦 各県3チームとする。 選手5名（2名以上）（先鋒・中堅・大将・補員2名）
- (2) 個人戦 各県上位8名

2 競技規則

- (1) 時間は、3分を限度とする。
- (2) 禁じ技は、(公財)日本相撲連盟の「競技会規定及び審判規定」による。ただし、次の禁手（技）を加える。反則した場合は取直しとし、再度した場合は審判員の協議により負けとする。
○鴨の入れ首 ○首を脇の下に入れる ○さば折り ○かわずかけ ○反り技
○相手の首をきめる ○極め出し・極め倒し



鴨の入れ首



頭を相手の胸より下に入れる



頭を相手の脇の下に入れる



さば折り



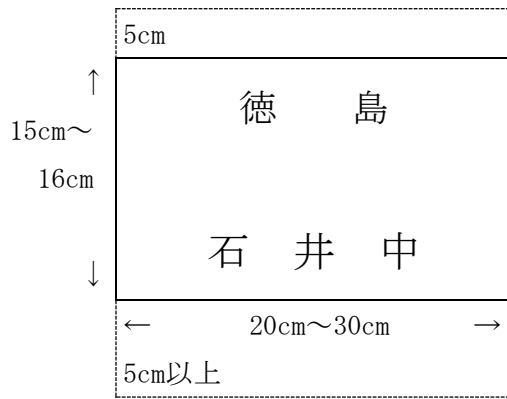
河津掛け



居反り

- (3) 交替選手が出場する場合は、本部の承認を要し、団体戦に限り前選手の位置を継承する。ただし、交替した選手は、再び出場することはできない。また、個人戦に欠場した者は団体戦も欠場とする。
- (4) 立合は主審のかけ声にて立つ。待ったはなしとし、1回目で必ず立つこと。双方とも両手をついて立ち合うこと。
- (5) 競技の審判に対する異議申立ては、担当の審判のみに許される。一度勝ち名乗りを上げて判定した後は、一切異議の申立ては認めない。
- (6) 選手は呼出しに応じて土俵に上がり、土俵の内側において塵浄水を行い、土俵中央に進み、そんきよして主審の合図により仕切にはいる。
- (7) 服装はまわし及びアンダーパンツ以外を身につけてはならない。
※ アンダーパンツをつかんではいけない。勝敗に影響する行為があった場合は、審判団の協議とする。
- (8) 負傷者は、包帯、サポーター、足袋等を身につけることができる。但し、支柱入りのサポーター、その他相手に危害を及ぼすおそれのあると認められるものについては、この限りではない。
- (9) 外部指導者（コーチ）は、当該校の校長が認めた者に限る。
- (10) 手・足のつめを端正にすること。
- (11) タオルを準備しておくこと。

(12) ゼッケンの規定は、次のとおりとする。



- ※ 字画の太さは、1 cm位とする。
- ※ 輪にしないで、まわしにはさむようにする。
- ※ 必ず県名を入れる。
- ※ 下地は単色の布とすること。

3 競技方法

(1) 団体戦

① 団体予選（各県1位チームと他県の2位・3位チームによりリーグ戦）を行い勝率、勝ち点で上位8チームを選出する。もし同率、同点となった時は、代表決定戦を行う。

（3校の場合、トーナメント法で組合せ抽選）

② 上位8チームで決勝トーナメントを行う。

(2) 個人戦

予選リーグを行い、各グループの上位2名が決勝トーナメントに進出する。

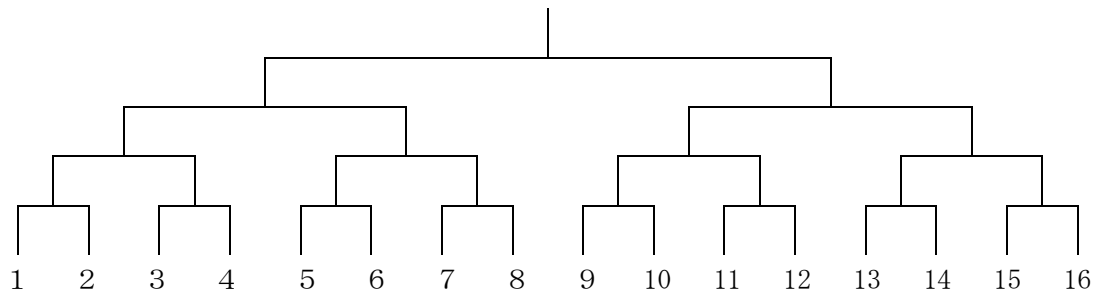
① 8グループによる予選リーグを行う。（県名（A～D）－順位）

aグループ	A-1	B-3	C-6	D-8	eグループ	A-2	D-4	B-5	C-7
bグループ	B-1	C-3	D-6	A-8	fグループ	B-2	A-4	C-5	D-7
cグループ	C-1	D-3	A-6	B-8	gグループ	C-2	B-4	D-5	A-7
dグループ	D-1	A-3	B-6	C-8	hグループ	D-2	C-4	A-5	B-7

※ グループ内で勝率が同じ場合は、決定戦を一度行う。ただし、勝負が決しない場合は、抽選で順位を決定する。

※ 県の事情により、8名以下の出場になった場合は、3名でリーグ戦を行うグループができる。（グループ内で勝率が同じ場合は、上記に同じ。）

② 決勝トーナメント（予選リーグ上位2名、計16名）



※ 各グループ1位通過者より抽選を行う。（奇数番号に振り分け）続いて、2位通過者が抽選を行う。（偶数番号に振り分け）

※ 抽選は、各グループ1位から順番に予備抽選を行い、その後本抽選を行う。各グループ2位についても同様とする。

4 その他

大会参加申込書提出後の選手の変更は認めない。

【 テ ニ ス 】

1 参加規程

(1) 団体戦

各県男女各2チームとする。各県の団体戦の成績順位で、上位2チームを選ぶ。

2 競技規則

(1) 競技規則は現行の日本テニス協会の競技規則及び大会開催要項による。

(2) 使用球は公認球（黄色）を使用する。

(3) ユニフォームは、上は襟付・半袖のスポーツシャツ、下は短パン・膝より上のパンツ、スコート（ショートパンツ）を着用すること。

〔注意〕 服装（用具を含めて）の色等は華美にならないようにし、公認メーカーのものを使用する。

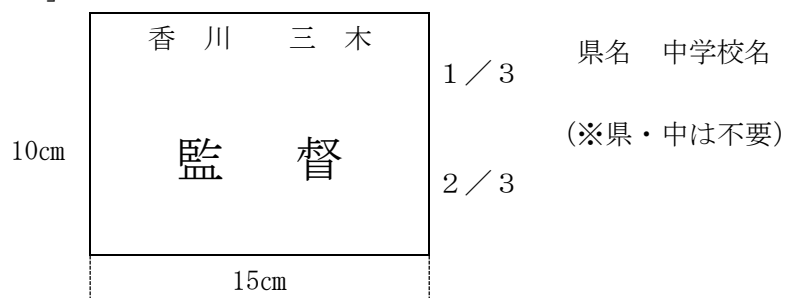
(4) テニスシューズを必ず履くこと。

(5) ソックスは白を基調としたもので、ハイソックスは認めない。

(6) 監督がベンチに入る時は、襟付のスポーツウェアを着用し、テニスシューズを必ず履くこと。

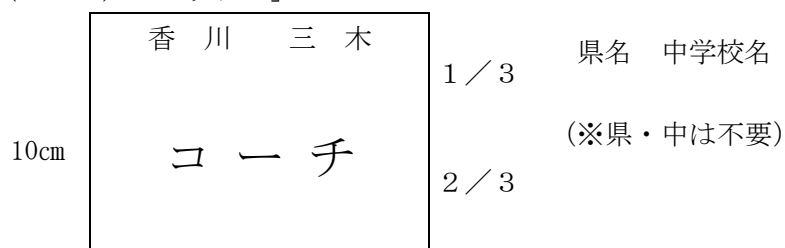
また、監督は胸にゼッケンを付けること。なお、背中 of ゼッケンは不要とする。

〔監督のゼッケン〕



(7) 外部指導者（コーチ）のベンチ入りを認める。【外部指導者（コーチ）証】を所持すること。

〔外部指導者（コーチ）のゼッケン〕



(8) 選手変更について

団体戦で、申し込み後メンバーを変更し直す場合は、「変更届」を大会本部に提出する。

(9) ハチマキには正面に特別な文言や記号を後から記入もしくは印刷し、使用してはいけない。ただし、ハチマキの端の部分に「学校名・名前」を記入してもよい。帽子・サンバイザーもこれに準ずる。

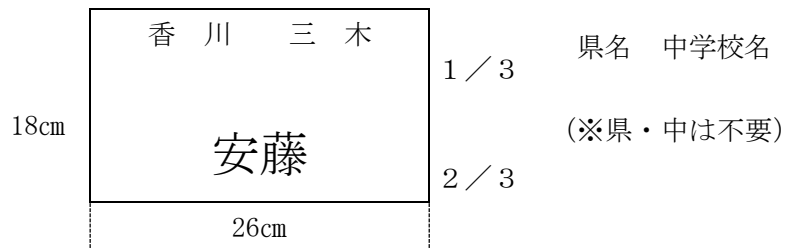
(10) 背中のゼッケンを各校で別の布などで作成し、背中に縫いつけること。着脱しやすいようにホック、マジックテープで止めることは可とする。ただし、安全ピンは不可とする。

① ゼッケンはB5版横（白地）の大きさの布に都道府県名、学校名、姓を記述する。また、県名の

「県」、中学校の「中」の文字はつけないものとする。また、県名と学校名の間は空白とする。

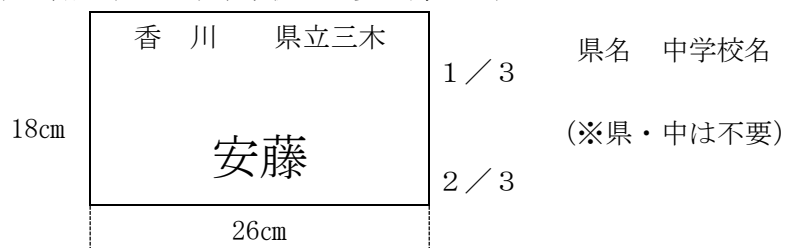
- ② ゼッケンの文字は「漢字」、「ひらがな」、「カタカナ」を使用し、文字色は「黒」とする。シヤツそのものへのプリントは認めない。

《例1》香川県 三木町 三木町立三木中学校 安藤 隆



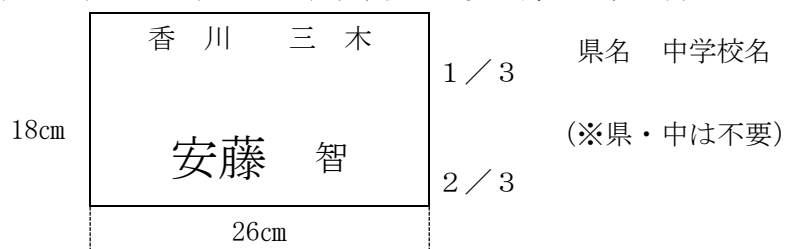
- ③ 県内で同名の中学校がある場合には、区別するために中学校名の工夫をしてもよい。(各地区ごとに望ましい表記をする。)

《例2》香川県 香川県立三木中学校 安藤 隆



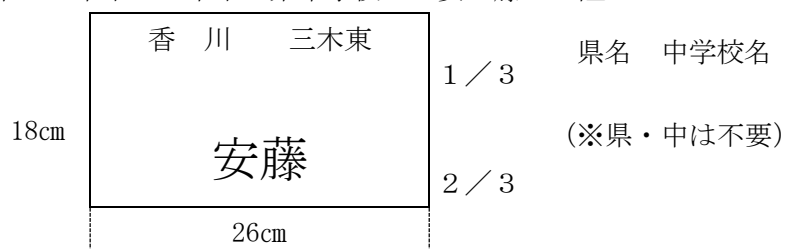
- ④ ゼッケンの文字の位置は《例1》どおりとし、同一校に同姓の選手がいる場合には、名前の一文字を付け加える。

《例3》香川県 三木町 三木町立三木中学校 安藤 智樹



- ⑤ 中学校名が第一・第二中学校や東・西・北・南中学校のような場合には、学校名を分かりやすくするために学校所在地を付記してもよい。

《例4》香川県 三木市 三木市立東中学校 安藤 隆



3 競技方法

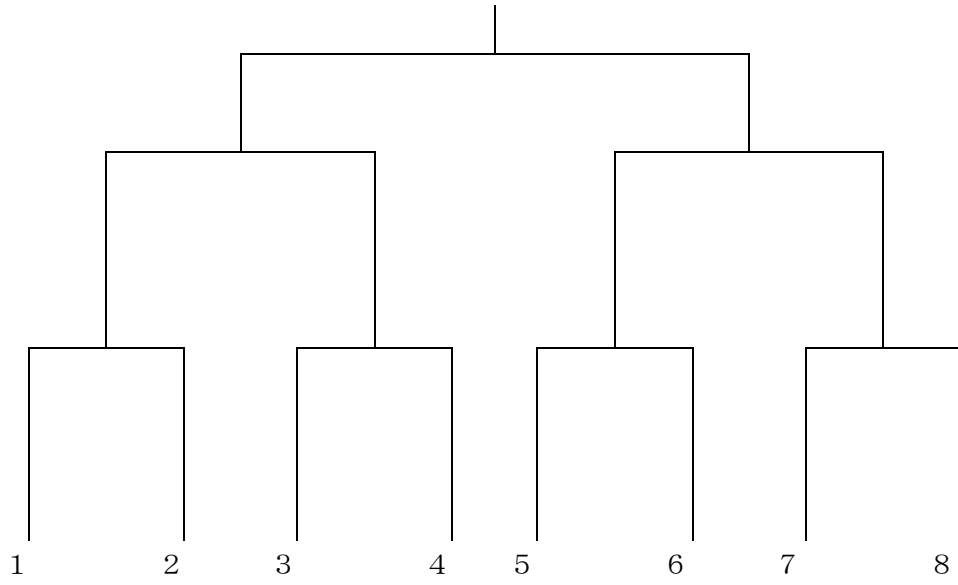
- (1) 団体戦は各県から選抜された男女各8校(監督1名とシングル3, ダブルス2の選手7名で1チーム編成 登録10名以内)によるトーナメント方式とし、3位決定戦までを行う。
- (2) 全試合6ゲームズプロセット(6-6後タイブレイク)
- (3) 試合開始時刻は、次のとおりとする。

10:00 ~ 開会式

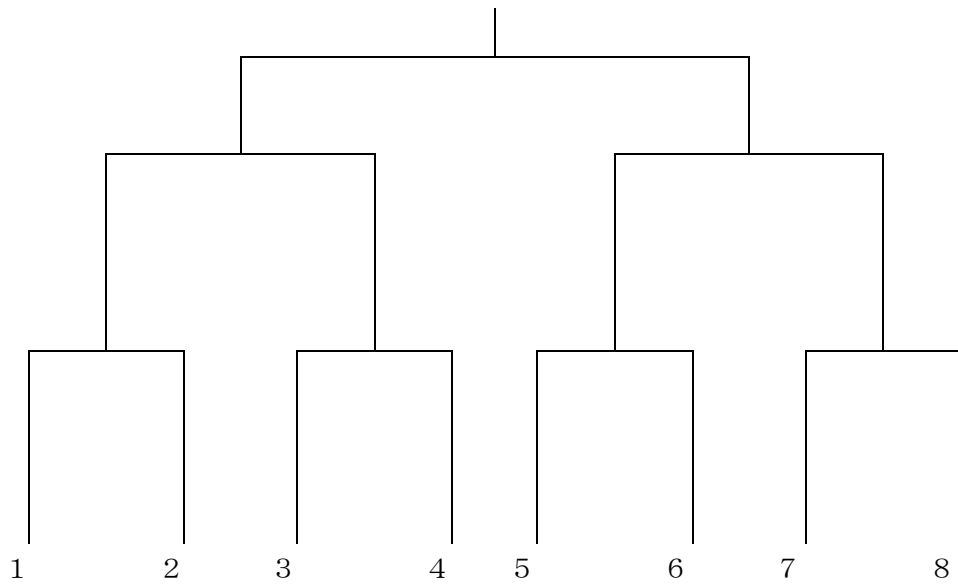
10:30 ~ 競技開始

(4) 組合せ

[男子]



[女子]



宿 泊 要 項

- 1 宿泊料金 (1) Aプラン 1泊2食付 8,000円(税, サービス料込み)
(2) Bプラン 1泊夕食付 7,500円(税, サービス料込み)
(3) Cプラン 1泊朝食付 6,500円(税, サービス料込み)
- 2 宿泊条件 (1) 適切な危機管理対応(感染症・自然災害等)を確保するため、必ず各県中学校体育連盟指定の取扱旅行業者を通して申し込むこと。
(指定外の宿泊施設の利用は、原則として認めない。)
- (2) 宿泊は、競技別とする。
- (3) 畳数は、1名1.5畳以上とする。
- (4) 引率は、同宿とする。
- (5) キャンセル料は、以下のとおりとする。
当日12時まで 50% 15時まで 70%
- (6) 男女を同一フロアに部屋割りしないように配慮する。
- (7) 他県(他校)の選手・監督を相部屋に部屋割りしない。
- 3 弁 当 (1) 料金600円(お茶付き消費税込)
(2) 宿泊申し込みと同様に、所定の方法で申し込んでください。
- 4 申し込み (1) 申し込み要領は、次のとおりとする。
- ① 7月28日(火)までに当該競技開催県の取扱旅行業者に宿泊・弁当申込書をFAX送信し、その後、直ちに郵送すること。宿泊費及び弁当代金は所定の口座に振り込むこと。
- ② 申し込みを受けた当該競技開催県の取扱旅行業者は、申し込み確認書を当該校に返送する。
- ③ 宿泊・弁当等の領収証が必要な学校は、宿泊・弁当申込書において必ず事前に申し込むこと。
- (2) 申し込み期日 FAXにて7月28日(火) 必着、その後郵送

駐車場については、当該校が事前に取扱旅行業者あるいはホテル(旅館)にお問い合わせください。

5 申込先

徳島県

業者名	(株) 日本旅行 徳島支店			
〒	770-0831	住所	徳島市寺島本町西1-10	
		TEL	088-622-5547	
		FAX	088-622-6313	
担当者名	西村 和生		連絡先 (夜間等)	088-622-5548 090-6486-8149
銀行名	支店名	科目	口座番号	口座名義
みずほ銀行	十五号支店	普通	3102656	株式会社 日本旅行

香川県

業者名	名鉄観光サービス株式会社 高松支店			
〒	760-0023	住所	高松市寿町1-4-3 高松中央通りビル3階	
		TEL	087-822-1621	
		FAX	087-822-1628	
担当者名	喜多野 裕介		連絡先 (夜間等)	087-822-1631 080-1552-2614
銀行名	支店名	科目	口座番号	口座名義
みずほ銀行	第5集中支店	普通	0170851	名鉄観光サービス株式会社

愛媛県

〒	790-0022	住所	愛媛県松山市永代町11-1	
業者名	株式会社 漣観光社			
		TEL	089-932-3373	
		FAX	089-932-3375	
担当者名	井門 智浩		連絡先 (夜間等)	070-5681-3488 090-2828-8389
銀行名	支店名	科目	口座番号	口座名義
伊予	湊町	普通	1473927	株式会社漣観光社 か)サナミカンゴウシャ

高知県

〒	780-0822	住所	高知県高知市はりまや町1-1-9	
業者名	名鉄観光サービス(株)高知支店			
		TEL	088-873-5888	
		FAX	088-825-3661	
担当者名	谷井 順一		連絡先 (夜間等)	080-1552-3479
銀行名	口座番号		口座名義	
ゆうちょ銀行	01610-5-34193		名鉄観光サービス(株)高知支店	

宿 舎 一 覧

県	競技名	宿 舎 名	住 所	電 話 番 号
徳 島	陸上競技	徳島グランドホテル偕楽園	徳島市伊賀町1-8	088-623-3333
		昴宿よしの	徳島市一番町3-18	088-654-2255
		ホテルサンシャイン徳島	徳島市南出来島町2-9	088-622-2333
		アパホテル徳島駅前	徳島市一番町2-21	088-655-5005
		剣山ホテル	徳島市南内町2-11	088-654-3331
		アドイン鳴門	鳴門市撫養町斎田字大堤5-5	088-685-1115
		十楽寺	阿波市土成町高尾法教田58	088-695-2150
		油屋美馬館	美馬市穴吹町穴吹字市ノ下100-6	0883-53-7733
		セントラルホテル鴨島	吉野川市鴨島町鴨島471-2	0883-24-8989
	水泳競技	ホテルクレメント徳島	徳島市寺島本町西1-61	088-656-3111
		徳島東急REIホテル	徳島市元町1-24	088-626-0109
		ホテルサンルート徳島	徳島市元町1-5-1	088-653-8111
		徳島ワシントンホテル	徳島市大道1-61-1	088-653-7111
		阿波観光ホテル	徳島市一番町3-16-3	088-622-5161
		県庁前第一ホテル	徳島市昭和町1-15	088-655-5151
	体操競技	ホテルファーストシーズン	鳴門市撫養町斎田字大堤228	088-686-3261
		ビジネスホテル鳴門	鳴門市撫養町斎田字大堤104-105	088-686-2555
		ホテルアド・イン鳴門	鳴門市撫養町斎田字大堤5-5	088-685-1115
	新体操	グランドパレス徳島	徳島市寺島本町西1-60-1	088-626-1111
	バドミントン	ホテル白水園	徳島市仲之町1-40	088-622-9165
		剣山ホテル	徳島市南内町2-11	088-654-3331
昴宿よしの		徳島市一番町3-18	088-654-2255	
香 川	軟式野球	オークラホテル高松	高松市城東町1-9-5	087-821-2222
	バレーボール	オークラホテル丸亀	丸亀市富士見町三丁目3-50	0877-23-2222
	ソフトテニス	オークラホテル高松	高松市城東町1-9-5	087-821-2222
	柔道	ニューグランデみまつ	高松市通町2-3	087-823-4111
愛 媛	サッカー	西条国際ホテル	西条市大町771-1	0897-56-4800
		リーガロイヤルホテル新居浜	新居浜市前田町6-9	0897-37-1121
	ハンドボール ソフトボール 剣道 テニス	スカイホテル	松山市三番町8-9-1	089-947-7776
		ホテルサンルート松山	松山市宮田町391-8	089-933-2811
		ホテルクラウンヒルズ松山	松山市宮西1-3-40	089-924-2121
		ホテル勝山	松山市勝山町1-11-1	089-947-0561
長珍屋	松山市浄瑠璃町甲119-1	089-963-0280		
高 知	バスケットボール	サザンシティホテル	南国市明見933	088-863-2000
		土佐ロイヤルホテル	安芸郡芸西村西分甲2995	0887-33-4510
		ホテル海辺の果樹園別館	香南市夜須町手結山506-1	0877-55-4111
	卓 球	高知パレスホテル	高知市廿代町1-18	088-825-0100
		高知グリーンホテル	高知市はりまや町3-1-11	088-822-1800
		ウエルカムホテル高知	高知市追手筋1-8-25	088-823-3555
	相 撲	高知パレスホテル	高知市廿代町1-18	088-825-0100
		ホテルロスイン高知	高知市北本町2-4-8	088-884-1110
		ホテル港屋	高知市相生町2-12	088-883-6000

競技別会場所在地一覧

競技名		会場名	所在地
陸上競技		鳴門・大塚スポーツパーク ポカリスエットスタジアム	鳴門市撫養町立岩字四枚61
水泳競技		JAバンクちょきんぎょ7プール	徳島市庄町1-76-2
バスケットボール		南国市立スポーツセンター	南国市前原1344-3
サッカー		グリーンフィールド新居浜	新居浜市観音原町乙109
ハンドボール		愛媛県総合運動公園体育館	松山市上野町乙46
軟式野球		レグザムスタジアム	高松市生島町614
		香川県営第2野球場	高松市生島町614
体操競技		鳴門・大塚スポーツパーク アミノバリューホール	鳴門市撫養町立岩字四枚61
新体操	男子	鳴門・大塚スポーツパーク アミノバリューホール	鳴門市撫養町立岩字四枚61
	女子	鳴門・大塚スポーツパーク アミノバリューホール	鳴門市撫養町立岩字四枚61
バレーボール		丸亀市民体育館	丸亀市金倉町924-1
ソフトテニス		香川県総合運動公園テニス場	高松市生島町614
卓球		高知県立県民体育館	高知市栈橋通り2-1-53
バドミントン		徳島市立体育館	徳島市徳島町城内6
ソフトボール		東温市かすみの森公園多目的広場	東温市重信川右側河川敷上林大橋西
		松山中央公園運動広場	松山市市坪西町625-1
柔道		高松市総合体育館	高松市福岡町4-36-1
剣道		愛媛県武道館	松山市市坪西町551
相撲		高知県立春野総合運動公園相撲場	高知市春野町芳原2485
テニス		松山中央公園テニスコート	松山市市坪西町625-1

第 53 回 四国中学校総合体育大会宿泊・弁当申込書

県 名	県	競 技 名	
学校名及び住所	学校	住 所	〒
学校連絡先	TEL	FAX	
宿泊責任者	氏 名		
	TEL	携帯TEL	

- ※ 宿泊料金 (1) Aプラン 1泊2食付 8,000円(税, サービス料込み)
 (2) Bプラン 1泊夕食付 7,500円(税, サービス料込み)
 (3) Cプラン 1泊朝食付 6,500円(税, サービス料込み)

1 申込宿泊プラン： () プラン

※下表の申込期日と曜日も併せてご記入ください。

宿 泊 申 込	期日・曜日		日 () 曜日の宿泊	日 () 曜日の宿泊	計	
	選 手	男 子		人	人	人
女 子			人	人	人	
小 計			人	人	人	
引 率 監 督 コ ー チ		男 子		人	人	人
		女 子		人	人	人
		小 計		人	人	人
専 門 部 長		男 子		人	人	人
		女 子		人	人	人
帯 同 審 判		男 子		人	人	人
		女 子		人	人	人
合 計			人	人	① 人	

2 弁当申込

弁当 申込	期日・曜日	日 () 曜日の弁当	日 () 曜日の弁当	合 計
		弁当個数	個	個

3 納入金額 (宿泊料金：宿泊プランによる金額 弁当：600円)

〔① 人× 円〕 + 〔② 個×600円〕 = 円

上記申し込みます。

(申込責任者)

_____ 県 _____ 学校 職名 _____ 氏名 _____ 印

4 宿泊等の領収証について

該当する箇所には○をご記入ください。

- [] I. 旅行代理店発行の領収証と宿泊所発行の宿泊証明書が必要です。
 [] II. 旅行代理店発行の領収証が必要です。
 [] III. 宿泊申し込み確認書で結構です。

領収証内容：①宿泊と弁当 () ②宿泊のみ () ③弁当のみ ()

<備 考>

5 留意事項

- (1) 申し込みをした学校は必ず宿泊をしてください。やむを得ず不泊の場合は、宿泊要項にあるキャンセル料で対処いたします。
- (2) 申し込み：7月28日(火)までに、参加の各校で申込書(申込責任者印を押印したもの)を、宿泊要項にある当該競技開催県の取扱旅行業者にFAX送信し、その後、直ちに郵送してください。宿泊費及び弁当代金は、所定の口座に振り込んでください。なお、振込手数料は、申込者にてご負担ください。
- (3) 宿泊領収証等が必要な場合には、この用紙にて申し込んでください。
- (4) 学校所定の宿泊証明書が必要な場合には、宿泊当日ご持参ください。

備考

到着予定時刻

利用交通機関

貸切バス (大型 : 中型)

JR

自家用車

台

他